

# 2 2 精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事

## 図面リスト

図面番号	図面名	縮尺
M/E-00	図面リスト	N. S
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	N. S
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	N. S
M-03	案内図・配置図	1:600
M-04	空調機廻り要領図・凡例	N. S
M-05	空調設備 機器表1 【撤去・新設】	N. S
M-06	空調設備 機器表2 【撤去・新設】	N. S
M-07	空調設備 新館棟1階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-08	空調設備 新館棟屋上階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-09	空調設備 本館1階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-10	空調設備 本館2階・屋上階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-11	自動制御設備 新館棟1階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-12	自動制御設備 本館1階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-13	自動制御設備 本館2階平面図 【撤去・新設】	1:100
M-14	空調設備 機器表 【外気処理空調機整備】	N. S
M-15	空調設備 新館棟地下1階平面図 【外気処理空調機整備】	1:100
M-16	空調設備 新館棟1階平面図 【外気処理空調機整備】	1:100
M-17	仮設図(参考図)	1:300
E-01	電気設備工事特記仕様書	N. S
E-02	動力設備 新館棟1階平面図	1:100
E-03	動力設備 新館棟屋上階平面図	1:100
E-04	動力設備 本館棟1階平面図	1:100
E-05	動力設備 本館棟2階平面図	1:100

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	主任

設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部施設整備担当	本部長	管理幹	主幹	主査	主任	縮尺	工事名称	図名	図面番号
							A1: N/S A3: N/S	2 2 精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事	図面リスト	M/E-00

# 機械設備工事特記仕様書

<b>I 工事概要</b>	
1 工事名称	2 2精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事
2 工事場所	北足立郡伊奈町小室 8 1 8 - 2
3 工期	契約日から令和5年2月10日
現場施工期間	令和5年 月 日から 令和5年 月 日
4 建物概要	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

建物名称	構造	階数	延面積(m <sup>2</sup> )	消防法施行令別表第一	備考
① 新館棟	RC造一部S造	地上3階,地下1階	19,219.44m <sup>2</sup>		
② 本館棟	RC造	地上2階,塔屋1階	9,354.92m <sup>2</sup>		
③					
④					
⑤					

5 工事種目 (●印を付いたものを適用する。)							
建物別及び屋外	工事種別	①	②	③	④	⑤	屋外
● 空気調和設備	一式						
○ 換気設備							
○ 排煙設備							
○ 自動制御設備							
○ 衛生器具設備							
● 給水設備	一式						
○ 排水設備							
○ 給湯設備							
○ 消火設備							
○ 厨房機器設備							
● ガス設備	一式						

6 指定部分 無 有 対象部分： 工期：令和5年 月 日

7 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

1 専任期間の始期  
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 令和5年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期  
工事完成後、検査が終了 (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断  
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

8 工事範囲 図示のとおり

9 機械設備工事概要  
・新館棟ほかの図示の空調機 (GHP・EHP) の更新工事をおこなう。  
それとともなう冷媒管、ドレン管、ガス管、制御配線の取外し・再接続を図示の通りおこなう。  
新設空調機には加湿器は付属しないものとする。加湿用給水管は図示の通り切断・プラグ止とする。  
・新館棟の既設外気処理空調機の整備作業を図示の通りおこなう。

埼玉県環境配慮方針の適用項目 (12) (該当項目数：)	・長寿命機材の選定 (2-3-③) ・設備更新を踏まえた計画 (2-3-④) ・再生品の優先使用 (2-3-⑥) ・有害物質の放散量が少ない材料の使用 (2-4-②) ・発生材の再資源化を推進 (3-1-⑥) ○フロン等の回収、破壊を行う (4-1-①) ・代替フロンの使用抑制 (4-1-②) ○新冷媒の採用 (4-1-③) ・太陽熱利用システムの導入 (5-1-②) ○高効率機器の採用 (5-2-②) ・ソーニングの工夫 (5-3-①) ・外気冷房制御の導入 (5-3-②) ・搬送動力の低減 (5-3-③) ○ヒートポンプの採用 (5-3-④) ・熱回収システムの導入 (5-3-⑤) ・コージェネレーションの導入 (5-4-①) ・節水機器の採用 (6-1-①) ・雨水利用 (6-1-③) ・排水再利用 (6-1-④) ・アスコン廃材の再利用 (6-3-②) ・再生塩ビ管の採用 (6-3-③)
------------------------------	---

10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。

11 同時期発注の関連工事  
・建築工事 ・電気設備工事

**II 工事仕様**

1 共通仕様  
(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編)、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)) 及び監督員の指示に従い施工する。  
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。  
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。  
(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2 特記仕様  
(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

章 項目

① 機材等  
本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7Aを含有の有無を確認し、7Aを含有機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。  
・置く ※置かない

② 電気保安技術者

③ 施工条件  
施工時間  
※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。  
・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。

④ 技能士の適用

⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験  
○配管施工 (配管工事) ・建築板金施工 (風道制作及び取付け) ・熱絶縁工 (保温工事) ・冷凍空調調和機器施工 (冷凍空調機器の据付け)  
検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。  
※飲用に供する設備機器の据付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所 (事前に監督員の承諾を得る) に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。  
ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧味、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および⑫残留塩素の12項目とする。  
※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに (概ね3ヶ月以内) 流入水・処理水の水質試験を行う。試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。

⑥ 監督員事務所  
本工事で ・設ける (規模) ※設けない

⑦ 官公署その他への届出手続等  
工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し遅滞なく行う。

⑧ 工事用電力・水等  
本工事に必要な工事用電力及びび水などの費用は、すべて受注者の負担とする。

⑨ 工事用仮設物  
すべて受注者の負担とし、構内につくることが ※できる ・できない

⑩ 足場・さんばし類  
※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。

11 残土処分  
埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。  
・構外搬出適切処理する。

12 埋め戻し土・盛土  
※根切土の中の良質土 (但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ・山砂の類

13 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用  
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。  
再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

⑭ 発生材の処理等  
※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。  
(構外搬出処理費は ※本工事 ・別途)  
(1) 引渡しを要するもの ( )  
(2) 買取処分を要するもの ( )  
(3) 再生資源化を図るもの ( ・硬質塩化ビニル管 ・ )  
(4) 特別管理産業廃棄物 ( )  
※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑮ 容量等の表示  
(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。  
(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

16 配管  
(1) 地中埋設配管 (排水管を除く)  
1) 地中埋設機 (コンクリート製) ※要 (図示の箇所) ・不要  
2) 地中埋設機 (キャットアップ) ※要 (舗装部の分岐、曲部) ・不要  
3) 埋設表示テープ (2倍折込み) ※要 ・不要

⑯ 耐震施工  
設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計 ・施工指針 2014年版」により行う。  
ただし、設計用地震力 (水平及び鉛直) は次の設計用水平震度 K<sub>v</sub>、及び設計用鉛直震度 K<sub>v</sub> (K<sub>v</sub>/2) を用いて計算する。  
設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上階階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
	<2.0>	<1.5>	<1.5>	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>
1階及び地下階	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	<1.5>	<1.0>	<1.0>	<0.6>

(注) ( ) 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。  
< > 内の数値は水槽類に適用する。  
※上階階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階)  
中間階とは地下階、1階を除く各階で上階階に該当しないもの (平屋建の場合は無し)  
重要機器は次のものを示す。  
給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器  
防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置  
火を使用する設備 避難経路上に設置する機器

⑰ あと施工アンカー  
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。  
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーポルトを選定すること。  
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。  
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。  
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。  
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)  
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

⑱ 防露保温工事

標準仕様書第2編によるほか下記による。

区分	施工箇所	保温種別
ドレン管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内、PS内及び空隙壁中	c2・(ロ)・Ⅶ
	浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅶ
蒸気管	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅱ
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅱ
	天井内、PS内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅱ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅱ
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)		
及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	E3・(イ)・Ⅱ	
冷水・冷温水管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への供給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(ハ)・Ⅲ
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・Ⅲ
	天井内、PS内及び空隙壁中	C1・(イ)・Ⅲ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ハ)・Ⅲ
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)		
及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	E3・(ハ)・Ⅲ	
温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	A1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・Ⅰ
	天井内、PS内及び空隙壁中	C2・(ロ)・Ⅰ
	床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	D・(ロ)・Ⅰ
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)		
及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	E3・(イ)・Ⅰ	

(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆鋼管を使用し、外装は下記による。  
屋外露出部 ※保温化粧カバー (※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)  
屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー (※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製)  
2. 施工種別日の材料及び施工順序 4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。  
3. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。

ダクトの保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
長方形ダクト	屋内露出 (一般居室、廊下)	J1・(イ)・XI
	屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)	I・(イ)・XI
	屋内隠ぺい、DS内	I・(ロ)・XI
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	
及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	K3・(イ)・XI	
円形ダクト	屋内露出 (一般居室、廊下)	O1・(イ)・XI
	屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)	N・(イ)・XI
	屋内隠ぺい、DS内	N・(ロ)・XI
	屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)	
及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	P3・(イ)・XI	
消音内貼り	サブライチンパー	M・(ロ)・IX
	消音チャンパー・消音エルボ	L・(ロ)・Ⅶ

給湯衛生設備工事の保温の種別

区分	施工箇所	保温種別
給水管	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(ハ)・Ⅶ
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・Ⅶ
	天井内	c2・(ロ)・Ⅶ
	PS内及び空隙壁中	—
県営住宅PS内	c2・(ハ)・Ⅶ	
床下、暗渠内 (ビツ内、共同溝を含む。)	—	
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)		
及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅶ	
排水及び通気管	屋内露出 (一般居室、廊下)	—
	機械室、書庫、倉庫	—
	天井内	c2・(ロ)・Ⅶ
	PS内及び空隙壁中	—
及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・Ⅶ	
給湯管 (膨張管、空気抜管、膨張タンクからボイラー等への供給水管を含む。)	屋内露出 (一般居室、廊下)	a1・(イ)・Ⅰ
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・Ⅰ
	天井内	c2・(ロ)・Ⅰ
	PS内及び空隙壁中	d・(ロ)・Ⅰ
屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)		
及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)	e3・(イ)・Ⅰ	

(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。  
2. 排水管の管理が耐火二層管、耐火VPの場合は、保温を要しない。  
3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。  
4. 機器類の保温材の種類は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。  
5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。  
6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。  
7. 空調設備を要する便所 (特別支援学校等) 以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。  
※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。  
19 防凍保温  
・屋外露出給水管 (呼び径20以下のみ) は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。  
※図示の屋外露出部 (給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。) は下記仕様により防凍保温を行う。  
※保温仕様は保温厚さと呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。  
・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。

⑳ 塗装  
下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。  
・機械室、書庫、倉庫 ・  
下記の金属電気線管は塗装を行う。  
※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出 (※見えかきり部 )

㉑ 電線  
特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。  
ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。

㉒ はつり及びあと施工アンカー打設  
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。

23 管の埋設深さ  
(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。  
(2) 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。  
(3) その他の場所では、地面 (舗装する部分では路盤材下面) から管の上端まで300mmとする。

24 既設管分岐・接続  
既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。  
やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。

25 絶縁紐手の設置・種別  
※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管  
※鋼管と銅管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ

⑳ 天井上げ区分  
( ) 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。

27 他工事との取合区分  
スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。

㉑ 施工図等の取扱い  
施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。

29 保険  
受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象となっている類する部分 (※鋼管とステンレス管) に監督員に提出する。  
受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。

⑳ 配管識別  
配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。

㉑ 塗落防止用器具 (フルハーネス型)  
※使用を要する 塗落防止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による  
・使用を要しない

32 誘導電動機  
三相誘導電動機はJISC 4213 (IE3) トップランナーモーターとする。

㉑ 完成図書の電子納品  
完成図書の電子納品適用ガイドライン ※適用する ・適用しない  
完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。  
また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。  
県営住宅の完成図の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。

㉒ その他  
工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施することと、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

㉑ 共通事項  
改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。

㉒ 改修部分の足場  
本工事で単独に必要な足場は、下記より設ける。  
(1) 内部足場 ※ 脚立足場 ・柵足場 ・  
(2) 外部足場 ※A種 (柵組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種  
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について「厚生労働省 基礎第0424001号平成21年4月24日) の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

㉑ 既存部分養生・既存家具等養生  
(1) 関係受注業者と共用部分  
※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。  
・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)  
(2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。  
※ビニールシート ・合板

㉒ 備品等の移動  
・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事

㉑ 仮設間仕切り  
(1) 関係請負業者と共用部分  
※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。  
・本工事で負担とする。(種別は(2)による。)  
(2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。  
※A種 単管下地全面シート張り

㉒ 撤去後機材の扱い  
(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。  
(2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。  
それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。

㉑ 支持金物の再使用  
(1) インサート金物 ・インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品  
(2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品

㉒ あと施工アンカーの種別  
金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。

㉑ フロン回収  
冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。  
※破壊フロント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し  
「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。

㉒ 総合調整  
・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整

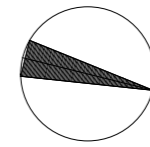
㉑ 既設基礎の解体はつり  
建設機械は、原則として、排出ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。  
現場内で使用する重機には、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。  
粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。

㉒ アスベスト事前調査結果の報告  
全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。

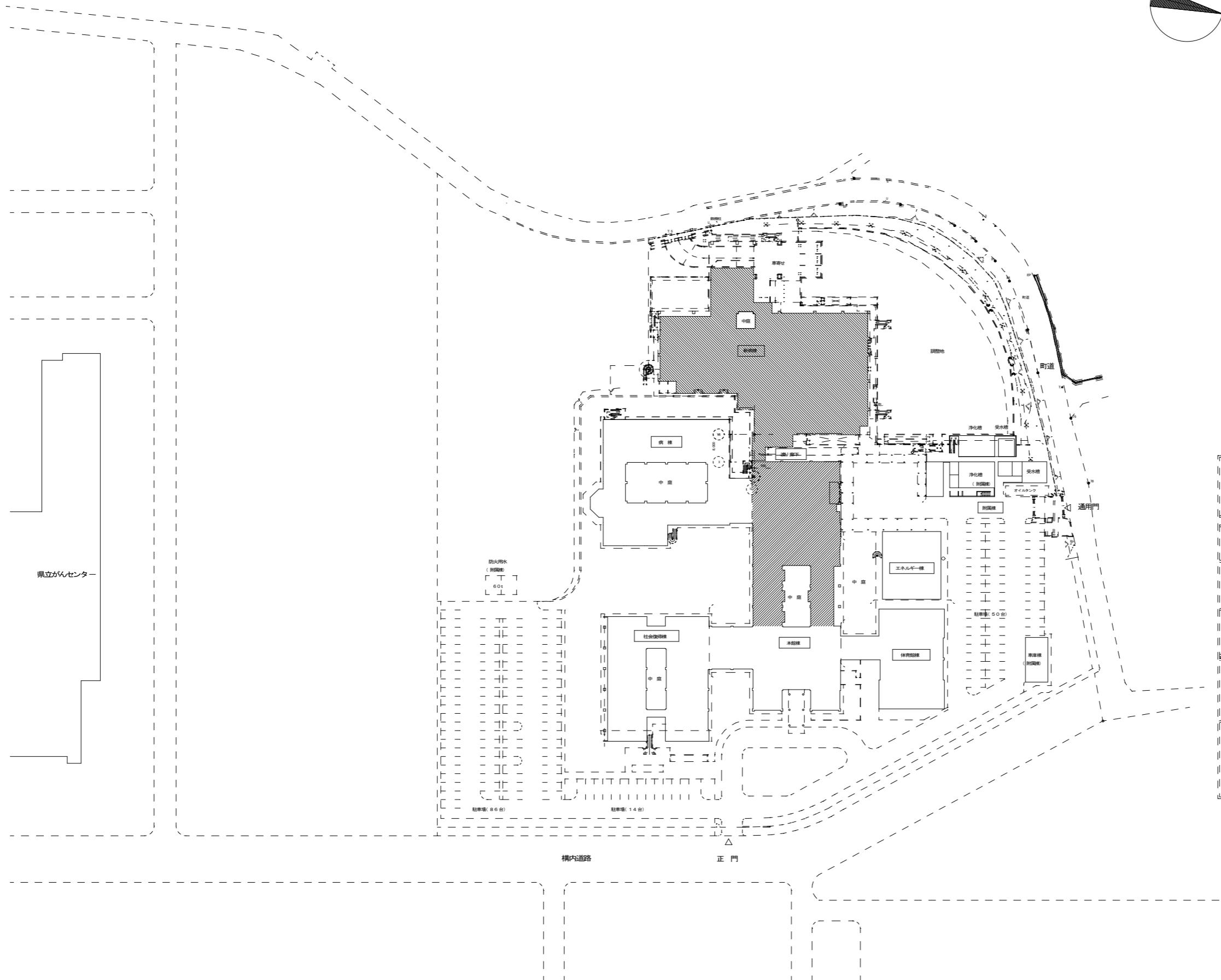
㉑ その他  
(1) 図面上の縮尺は、JIS A1相当とし縮尺とする。  
(2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。

設計年月日	令和3年9月30日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本部	課長	副課長	主幹	主査	担当	縮尺	N/S	工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事	図面名	機械設備工事特記仕様書 (1)	図面番号	M-01
-------	-----------	----------------------	----	-----	----	----	----	----	-----	------	--------------------------------	-----	-----------------	------	------

	<p>(3) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（(一財)日本石油燃焼機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時的取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p>	<p>⑩ 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機原動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンオフ制御 (2) 冷媒 HFC ( R410A、R32又はR407C ) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の新熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 振音装置</p> <p>13 そ の 他</p>	<p>2 洗面器等の排水管 洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。</p> <p>3 満水試験継手 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット ・ 満水試験用掃除口ソケット</p> <p>4 樹の適用 別紙表による。</p>																																																																																				
● 空気調和設備	<p>① 設計温湿度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th colspan="2">温度 (DB)</th> <th colspan="2">湿度 (RH)</th> <th colspan="2">温度 (DB)</th> <th colspan="2">湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <th>夏季</th> <th>冬季</th> <th>夏季</th> <th>冬季</th> <th>夏季</th> <th>冬季</th> <th>夏季</th> <th>冬季</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>0.6℃</td> <td>46.1%</td> <td>50.7%</td> <td>28℃</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>28℃</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外気処理用エアコンの室内設定値は、夏季湿度50%とする。</p> <p>② 総合試運転調整</p> <p>※本工事 ・ 別途</p> <p>風量調整 ※する ・ しない 水量調整 ※する ○しない 騒音の測定 ※する ・ しない 室内外空気の温度の測定 ※する ・ しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・ しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・ しない</p> <p>3 煙 道</p> <p>(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・ 4.5mm ) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は8φとする) ・ 設けない</p> <p>4 煙 突</p> <p>※別途 ・ 本工事</p> <p>5 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・ 高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ ステンレス製ダクト (・ A区分 ※B区分) ・ 塩ビ製ダクト (・ A区分 ※B区分)</p> <p>6 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (・ 保温付 ・ 保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>7 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンパーの分岐ダクト</p> <p>8 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。</p> <p>9 吹出口及び吸込口ボックス</p> <p>※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製</p> <p>10 ダンパー</p> <p>(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・ )</p> <p>⑪ 配管材料</p> <p>(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (3) ブライン管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ・ 20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管 V P ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (XLD'AD'UN'P'相当品) ・ 耐火二層管 V P ( F D P S - 1 ) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管 V P (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ (7) 蒸気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・</p> <p>12 弁 類</p> <p>規格は J I S 又は J V とし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。</p> <p>13 温 度 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>14 圧 力 計</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各選り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・</p> <p>15 瞬間流量計</p> <p>瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。 ・ 熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 ・ 空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。</p> <p>16 油面制御装置</p> <p>※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。 制御盤には (※給油ポンプ制御 ※漏減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ) の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。</p> <p>17 冷却塔</p> <p>※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。</p>		外 気				屋 内				温度 (DB)		湿度 (RH)		温度 (DB)		湿度 (RH)		夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏 期	36.9℃	0.6℃	46.1%	50.7%	28℃	20℃	9%	9%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	28℃	20℃	9%	9%	<p>1 長方形ダクト</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛鉄板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・ 高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・ 高圧2ダクト (亜鉛鉄板製) ・ ステンレス製ダクト (・ A区分 ※B区分) ・ 塩ビ製ダクト (・ A区分 ※B区分)</p> <p>2 円形ダクト</p> <p>※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 耐火二層換気管又は耐火V P ※フレキシブルダクト (・ 保温付 ・ 保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>3 風量測定口</p> <p>取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト</p> <p>4 チャンパー</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けけるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留し (1) ない防煙ダクトによる。 復帰方式 (※遠隔 ・ ) 定格入力DC24V、0.7A以下</p> <p>5 ダンパー</p> <p>(2) ピストンダンパー 復帰方式 (※遠隔 ・ )</p> <p>6 多湿箇所排気ダクト</p> <p>(1) 排気ダクトのうち下配箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火V P) を使用できる。 ※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・ (2) 水抜き管は (※厨房、浴室 ※結露水が滞留する部分 ・ ) の排気ダクトには設ける</p> <p>7 保 温</p> <p>下記のダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN ・ (口) ・ X1とする。 保温施工範囲は、給気用O Aダクトは全て、また、排気用E Aダクトは外壁より1mの部分とする。 ※ (※厨房 ・ 湯沸室 ・ ) 用の隠蔽ぺい部ダクト (仕様はh ・ (イ) ・ IXとし範囲は図示による)</p> <p>8 試運転調整</p> <p>風量調整 ※する ・ しない 水量測定 ※する ・ しない 騒音の測定 ※する ・ しない</p>	<p>○ 給水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (水道直結部分)</td> <td>※HIVP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※HIVP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・ SGP-PD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部 (一般部分)</td> <td>※HIVP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P S内 (注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管 (32A以上)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管 (10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. SUSとは、JIS G 3448 またはJWMA G 115に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (・ 圧縮 ※アプリア ・ 拡管) 使用 ・ 廊下流し廻り露出配管 (※拡管) とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、該接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用柵を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p> <p>2 一体形タンク</p> <p>一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。</p> <p>3 水 栓</p> <p>※給湯用水栓を除き大きさの呼び13の水栓は、節水コマとする。 ・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。</p> <p>4 量 水 器</p> <p>※観メーター (※賞与品 ・ ) ・ 子メーター (※買取り ・ )</p> <p>5 量水器柵</p> <p>※水道事業者指定品 ・ 標準図MC形</p> <p>6 弁 類</p> <p>規格は J I S 又は J V とし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。</p> <p>7 水 栓 柱</p> <p>・ 防寒コンクリート水栓柱 (1200L) ※不凍給水栓</p> <p>8 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4 ( ・ (a) ・ (b) ・ (c) )</p> <p>9 検針方法</p> <p>水道事業者の集合住宅に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ施工すること。</p> <p>10 水道利用加入金</p> <p>水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。</p> <p>11 本管取出し</p> <p>水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (水道直結部分)	※HIVP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・	県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD	地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・	便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)	便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管	<p>○ 給湯設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>取付部は下記による。 ※銅管と銅管及びこれに類する部分 ※銅管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>2 絶縁フランジ</p> <p>取付部は下記による。 ※銅管と銅管及びこれに類する部分 ※銅管とステンレス管及びこれに類する部分</p> <p>3 弁 類</p> <p>(1) 規格は J I S 又は J V とし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。</p> <p>4 ガス瞬間湯沸器</p> <p>※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS扉内設置の潜熱回収型</p> <p>5 電気給湯器</p> <p>飲用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。</p>	<p>○ 消火設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ HIVP 消火用 一般配管※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40 地中埋設※SGP-VS ・ HIVP 不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・ STPG370 (白) Sch80</p> <p>2 建物導入部配管</p> <p>図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・ 標準図施工4 ( ・ (a) ・ (b) ・ (c) )</p>	<p>● ガス設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>○都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ・ 液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP (白) 地中埋設 ※PE管 ・</p> <p>2 ガス漏れ警報遮断装置</p> <p>漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。</p> <p>3 液化石油ガスの供給柵</p> <p>ガス設備工事の施工者にガスの供給柵は付帯しない。</p>	<p>○ 厨房設備</p> <p>1 厨房機器の固定</p> <p>原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。</p> <p>2 シンク用水栓</p> <p>※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓</p> <p>3 安全装置の機能の適用</p> <p>標準仕様書第5編1・6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。</p>
	外 気				屋 内																																																																																			
	温度 (DB)		湿度 (RH)		温度 (DB)		湿度 (RH)																																																																																	
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季																																																																																
夏 期	36.9℃	0.6℃	46.1%	50.7%	28℃	20℃	9%	9%																																																																																
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	28℃	20℃	9%	9%																																																																																
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																							
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管																																																																																							
ウエット厨房、浴室等の湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管																																																																																							
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																																							
地中埋設部 (水道直結部分)	※HIVP ・ 水通用ステンレス鋼管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																																							
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																																							
県営住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)																																																																																							
便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																							
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																							
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																							
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管																																																																																							
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管																																																																																							
湿潤シンダー内配管	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管																																																																																							
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD																																																																																							
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・ 水通用ポリエチレン管 ・ 水道配用水用ポリエチレン管 (PE) ・																																																																																							
便所天井内、P S内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (32A以上)																																																																																							
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)																																																																																							
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																							
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管																																																																																							
				<p>○ 排水設備</p> <p>1 配管材料</p> <p>配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>管 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>厨房等の温排水</td> <td>※SGP (白) ・</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される箇所</td> <td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>耐火性能を要求される場所</td> <td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部</td> <td>※RS-VU 又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P</td> </tr> <tr> <td>共通</td> <td>※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ SGP (白)</td> </tr> <tr> <td>通気配管</td> <td>※リサイクルV P 又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)1. リサイクルV P、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管 RF-V P、RS-VU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2.1.2.6による。 2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。 3. 原則として雑排水配管、水配管の管接合部はV45度で行う。</p>	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P	厨房等の温排水	※SGP (白) ・	耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ SGP (白)	その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P	耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	地中埋設部	※RS-VU 又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P	共通	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ SGP (白)	通気配管	※リサイクルV P 又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	<p>○ 衛生器具設備</p> <p>1 小便器節水装置</p> <p>JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。</p> <p>2 バリアフリー対応</p> <p>・ 小便器 ※全部ストール形 ・ 一部ストール形 手すり (・ 本工事 ※別途工事) ・ 洗面器 ※自動水栓 (・ 全部 ※一部) ・ レバー式水栓 (一部) ・ シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式 ※スライドバー ・ フック ※止水機能付節水形シャワーヘッド ・ 鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・ 傾斜鏡 (照明無 ・ 照明付)</p> <p>3 衛生器具付属水栓</p> <p>(1) 器具付属止水栓は ※ドライパー式 ・ ハンドル式 (2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。</p> <p>4 自動水栓類の電源</p> <p>※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電</p> <p>5 暖房便座</p> <p>(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。 (2) 機能種別 ※温水洗浄 ※脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房 (3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式 (4) 使用流体は、飲料用水道水とする。 (5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電</p> <p>6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク</p> <p>器具表又は下記の場合を除き、※節水I型 ・ 節水II型とする。 ・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式 (※センサー式 ・ タッチスイッチ式) ・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。</p> <p>7 大便器耐火カバー</p> <p>※設ける (ピット内は除く) ・ 設けない</p> <p>8 掃除用</p> <p>※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。</p> <p>9 排水器具用J L継手</p> <p>※使用できる ・ 使用できない</p> <p>10 標 記 板</p> <p>大便器、小便器の洗浄用水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。</p> <p>11 水せつけん入れ</p> <p>せつけん供給栓等がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。</p>																																																													
施 工 箇 所	管 種 別																																																																																							
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P																																																																																							
厨房等の温排水	※SGP (白) ・																																																																																							
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ SGP (白)																																																																																							
その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																							
床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P																																																																																							
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																							
その他の部分	※RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																							
地中埋設部	※RS-VU 又はリサイクルVU ・ VU ・ 卵形管 (ゴム輪接合) ※REP-VU (軽荷重の場合) ・ RF-V P 又はリサイクルV P ・ V P																																																																																							
共通	※耐火二層管V P (FDPS-1) 又は耐火V P ・ SGP (白)																																																																																							
通気配管	※リサイクルV P 又はRF-V P ・ V P ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管																																																																																							
	設計年月日	地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部	課 長	副課長	主 幹	主 査	担 当	縮 尺	工 事 名 称	図 面 名	図面番号																																																																													
	令和3年9月30日							N/S	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事	機械設備工事特記仕様書(2)	M-02																																																																													



対象平面図	
	M-07, 08, 11, 15, 16, 17
	M-09, 10, 12, 13, 17



県立がんセンター

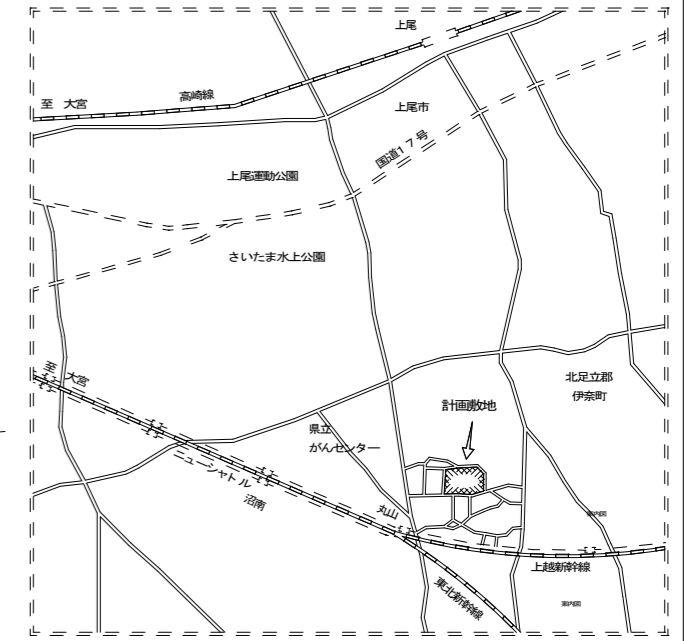
防火用水  
(別図参照)  
60t

駐車場(80台)

駐車場(14台)

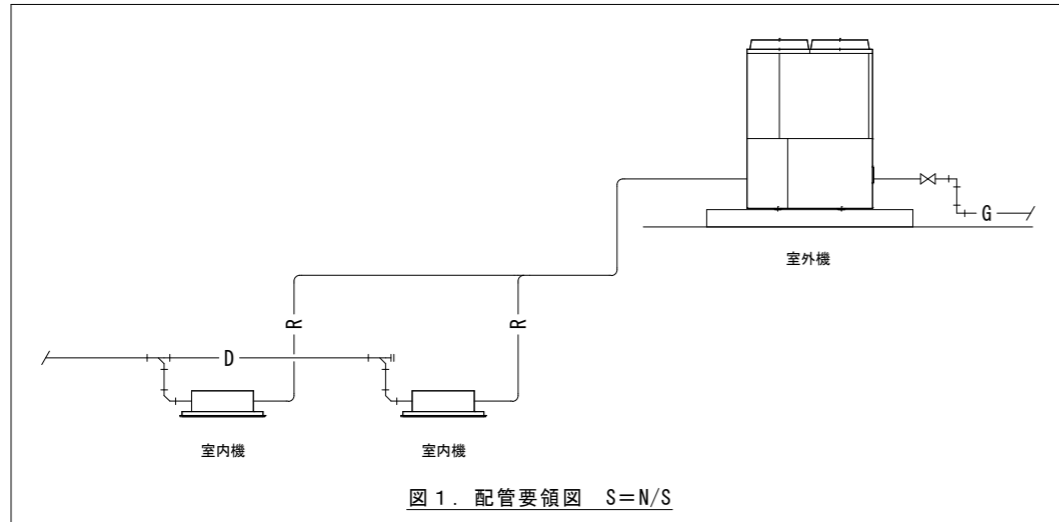
横内道路

正門



案内図

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	案内図・配置図	M-03	
縮尺	1/600		
日付	令和 3年12月24日		
<b>株式会社 雙設備研究所</b> <small>一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二</small>			



- ガスヒートポンプ空調機 室内機、室外機の更新に伴い下記の工事を行う。(図1, 図2参照。工程は参考とする)
1. 室内機廻りの天井一部撤去。
  2. 冷媒ガス回収。
  3. 室内機 冷媒管、ドレン管の取外し、加湿用給水管の切断・プラグ止。リモコン配線の離線。
  4. 室外機 冷媒管、ドレン管、ガス管の取外し。リモコン配線の離線。
  5. 室内機廻りの天井一部撤去。(注1)
  6. 室内機、室外機、リモコンスイッチ、室内湿度検出器の撤去。
  7. 冷媒管洗浄。(洗浄が不要な空調機を採用した場合は、事前に監督員の許可を得て洗浄を取止める事ができる)  
(PAC-102、PAC-105系統は、冷媒管洗浄をおこなわない)
  8. 室内機の吊りボルトの撤去。
  9. 室内機の耐震吊金具の設置。(図3参照)
  10. 室内機・室外機・リモコンスイッチの取付。(室外機は既設鋼材に、防振架台は穴明けボルト接合する)
  11. 室内機 冷媒管、ドレンフレキの接続。リモコン配線の結線。
  12. 室外機 冷媒管、ドレン管、ガス管の接続。リモコン配線の結線。
  13. 室内機廻りの天井補修。(注1)
- (注1) 室内機及び耐震吊金具設置のための必要最小限の天井解体復旧をおこなう。

作業可能時期

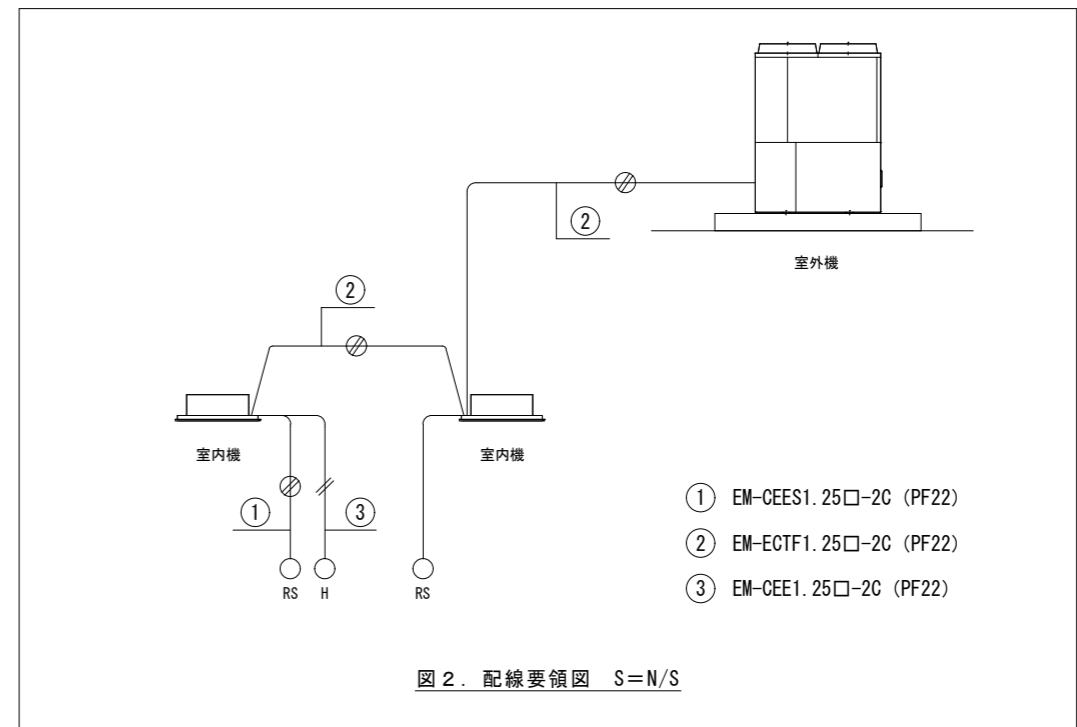
空調機の更新時期については、10, 11月の中間期とし、施設管理者と調整の上、作業を行うこと

室内機作業可能の時間

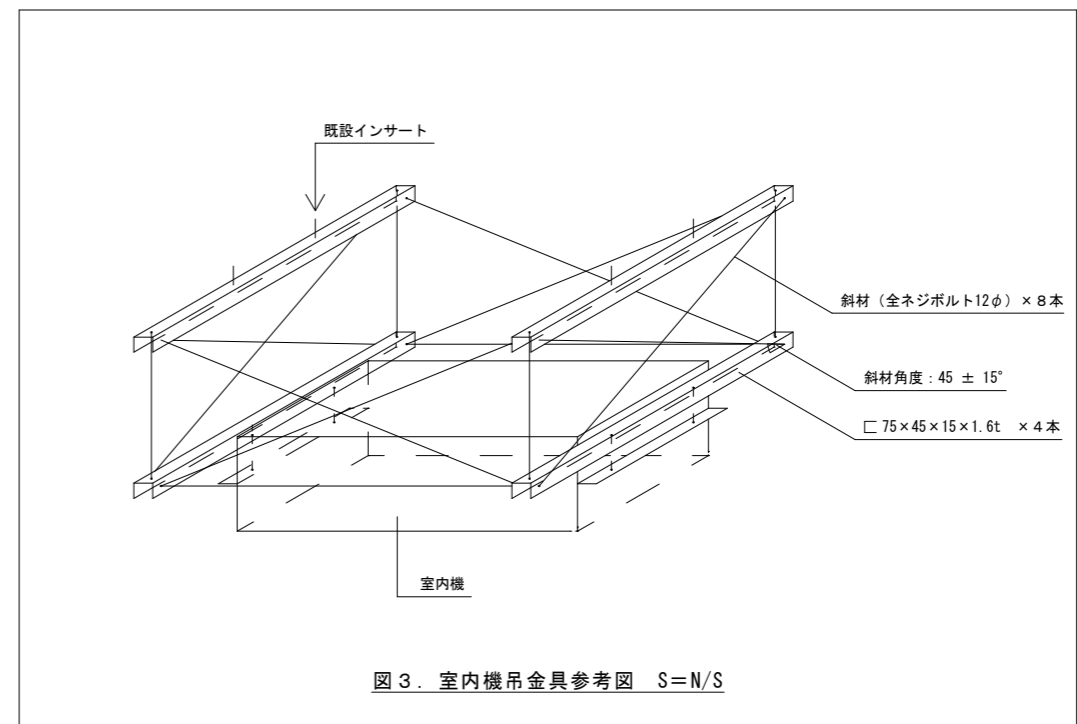
記号		系 統	作 業 可 能 時 間
撤 去	新 設		
ACP-102	PAC-102	夜間外来系統	平日昼間
ACP-103	同左	仮眠室系統	平日昼間又は休日昼間
ACP-104	同左	宿直室系統	平日昼間又は休日昼間
ACP-105	PAC-105	プレールーム系統	平日夜間・休日昼間又は休日夜間
ACP-107	同左	厨房事務室室	平日夜間又は休日夜間
RAC-H01, PAC-H-19 PAC-H-20, PAC-H-21	同左	外来系統	平日夜間・休日昼間又は休日夜間
RAC-H02	同左	医局系統	平日昼間

凡 例

記 号	名 称	材 質 (新 設)
— R —	冷媒管	特記仕様書による
— D —	ドレン管	特記仕様書による
— ⊗ —	シールド付ケーブル	
— / —	EM-CEE (斜線は本数)	
— - —	給水管	特記仕様書による
— G —	ガス管	特記仕様書による
○ RS	リモコンスイッチ	
○ H	室内湿度検出器	



室内機 リモコンスイッチの更新、室内湿度検出器の撤去に伴い、各機器の離線、結線を行う。



工事名称	22精神医療センター新館棟ヒートポンプ型空調設備ほか改修工事		
図面名称	空調機廻り要領図・凡例	M-04	
縮尺	N/S		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所 一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			

機器表		【撤去】											
記号	名称	仕様	台数	電源				設置場所	参考型番				
				φ	V	KW	起動						
ACP-102	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 14.0 kW	1	1	200	0.61/0.64	L-S	屋上	GHCP140HMT6 (三菱重工)				
	室外機	暖房能力： 18.0 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 11.4 kW 暖房： 13.6 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-102-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.03	L-S	1階 第3外来受付	GHTWP45HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 4.5 kW											
		暖房能力： 5.3 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-102-2	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	2	1	200	0.03	L-S	1階 診察処理室	GHTWP36HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 3.6 kW											
		暖房能力： 4.2 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-103	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 22.4 kW	1	1	200	0.74/0.76	L-S	屋上	GHCP224HMT6 (三菱重工)				
	室外機	暖房能力： 26.5 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 18.6 kW 暖房： 17.5 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-103-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	7	1	200	0.03	L-S	1階 仮眠室 (1) ~ (7)	GHTWP22HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 2.2 kW											
		暖房能力： 2.8 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-104	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 22.4 kW	1	1	200	0.74/0.76	L-S	屋上	GHCP224HMT6 (三菱重工)				
	室外機	暖房能力： 26.5 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 18.6 kW 暖房： 17.5 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-104-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	6	1	200	0.03	L-S	1階 宿直室 (1) ~ (6)	GHTWP22HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 2.2 kW											
		暖房能力： 2.8 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-104-2	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (1方向)	1	1	200	0.03	L-S	1階 新館守衛室	GHTSP28HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 2.8 kW											
		暖房能力： 3.4 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ											
ACP-105	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 14.0 kW	1	1	200	0.61/0.64	L-S	屋上	GHCP140HMT6 (三菱重工)				
	室外機	暖房能力： 18.0 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 11.4 kW 暖房： 13.6 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-105-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	2	1	200	0.03	L-S	1階 ブレイルーム	GHTWP36HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 3.6 kW											
		暖房能力： 4.2 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-105-2	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	2	1	200	0.03	L-S	1階 心理面接室、相談室	GHTWP22HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 2.2 kW											
		暖房能力： 2.8 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-107	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 28.0 kW	1	1	200	0.96/1.01	L-S	屋上	GHCP280HMT6 (三菱重工)				
	室外機	暖房能力： 33.5 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 24.5 kW 暖房： 22.4 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-107-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.035	L-S	1階 厨房事務室	GHTWP71HMD6 (三菱重工)				
	室内機	冷房能力： 7.1 kW											
		暖房能力： 8.5 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											

機器表		【新設】											
記号	名称	仕様	台数	電源				設置場所	リモコンスイッチ数量				
				φ	V	KW	起動						
PAC-102	ビル用マルチエアコン	冷房能力： 16.0 kW	1	3	200	3.08×1	L-S	屋上	COM				
	室外機	暖房能力： 18.0 kW								FAN			
		(リニューアル用)								付属品： 防振架台、本体付属品一式共			
PAC-102-1	ビル用マルチエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.035	L-S	1階 第3外来受付					
	室内機	冷房能力： 4.5 kW											
		暖房能力： 5.0 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
PAC-102-2	ビル用マルチエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	2	1	200	0.03	L-S	1階 診察処理室					
	室内機	冷房能力： 3.6 kW											
		暖房能力： 4.0 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
ACP-103	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 22.4 kW	1	1	200	0.378/0.466	L-S	屋上					
	室外機	暖房能力： 25.0 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 19.1 kW 暖房： 18.6 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-103-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	7	1	200	0.03	L-S	1階 仮眠室 (1) ~ (7)					
	室内機	冷房能力： 2.2 kW											
		暖房能力： 2.5 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
ACP-104	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 22.4 kW	1	1	200	0.378/0.466	L-S	屋上					
	室外機	暖房能力： 25.0 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 19.1 kW 暖房： 18.6 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-104-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	6	1	200	0.03	L-S	1階 宿直室 (1) ~ (6)					
	室内機	冷房能力： 2.2 kW											
		暖房能力： 2.5 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
ACP-104-2	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (1方向)	1	1	200	0.035	L-S	1階 新館守衛室					
	室内機	冷房能力： 2.8 kW											
		暖房能力： 3.2 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
PAC-105	ビル用マルチエアコン	冷房能力： 16.0 kW	1	3	200	3.08×1	L-S	屋上	COM				
	室外機	暖房能力： 18.0 kW								FAN			
		(リニューアル用)								付属品： 防振架台、本体付属品一式共			
PAC-105-1	ビル用マルチエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	2	1	200	0.03	L-S	1階 ブレイルーム					
	室内機	冷房能力： 3.6 kW											
		暖房能力： 4.0 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
PAC-105-2	ビル用マルチエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	2	1	200	0.03	L-S	1階 心理療法室、相談室					
	室内機	冷房能力： 2.2 kW											
		暖房能力： 2.5 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
ACP-107	ガスヒートポンプエアコン	冷房能力： 28.0 kW	1	1	200	0.602/0.614	L-S	屋上					
	室外機	暖房能力： 31.5 kW											
		ガス消費量 (13A) 冷房： 29.5 kW 暖房： 25.1 kW											
		付属品： 防振架台、本体付属品一式共											
ACP-107-1	ガスヒートポンプエアコン	型式： 天井カセット形 (2方向)	1	1	200	0.04	L-S	1階 厨房事務室					
	室内機	冷房能力： 7.1 kW											
		暖房能力： 8.0 kW											
		付属品： 防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											

※ 冷媒配管を再利用するにあたり、既設冷媒配管の口径等の現場条件で使用可能な機器選定を行うこと

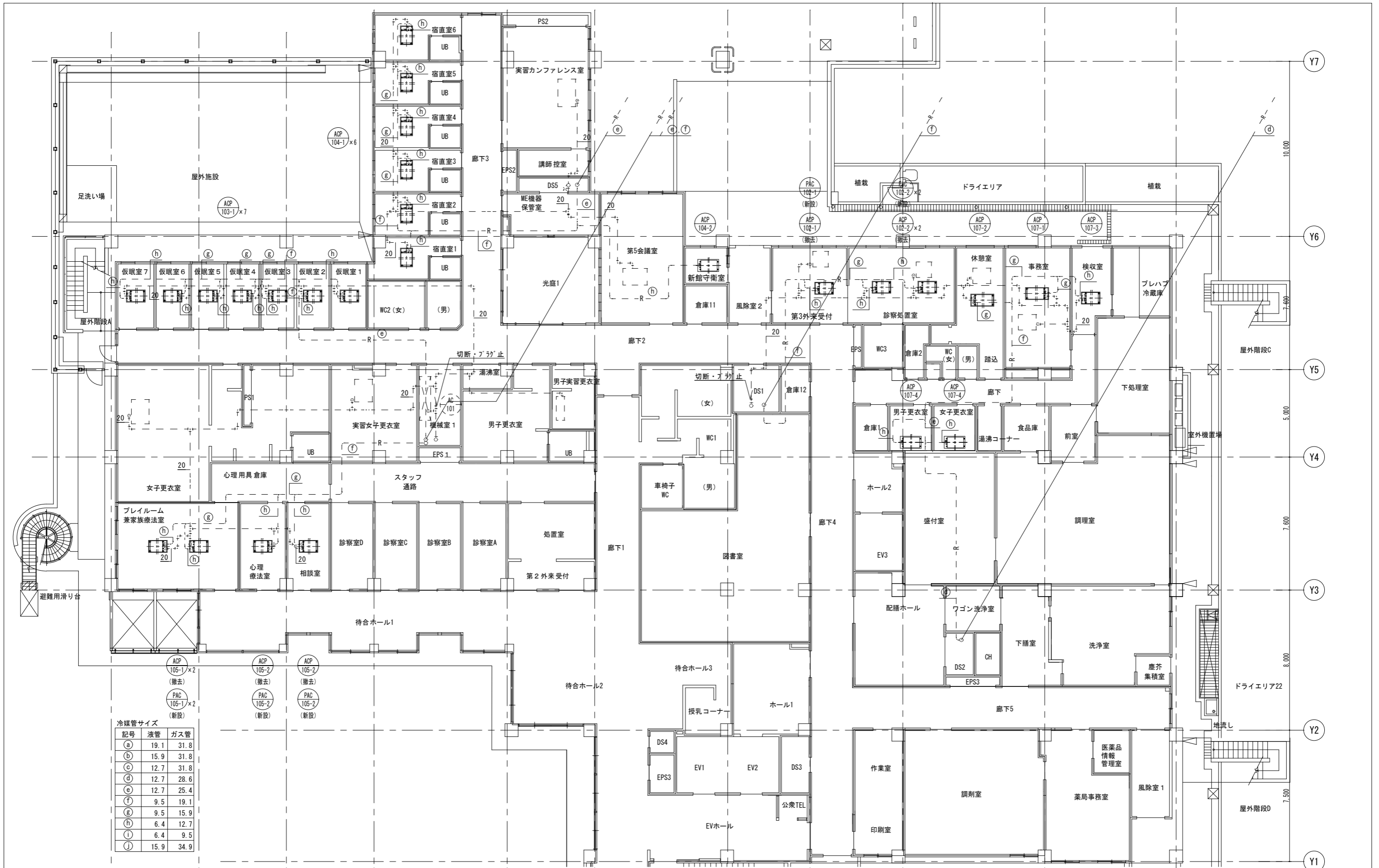
工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	空調設備 機器表 1 【撤去・新設】	M-05	
縮尺	N/S		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所 一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			

機器表		【撤去】											
記号	名称	仕様	台数	電源				設置場所	参考型番				
				φ	V	KW	起動						
ACP-107-2	ガスヒートポンプエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	1	1	200	0.04	L-S	1階 厨房休憩室	GHTWP80HMD6（三菱重工）				
	室内機	冷房能力：8.0 kW 暖房能力：9.5 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-107-3	ガスヒートポンプエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	1	1	200	0.03	L-S	1階 検収室	GHTWP22HMD6（三菱重工）				
	室内機	冷房能力：2.2 kW 暖房能力：2.8 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、気化式加湿器											
ACP-107-4	ガスヒートポンプエアコン	型式：天井カセット形（1方向）	2	1	200	0.02	L-S	1階 厨房更衣室	GHTSP28HMD6（三菱重工）				
	室内機	冷房能力：2.8 kW 暖房能力：3.4 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ											
RAC-H01	ビル用マルチエアコン	冷房能力：22.4 kW 暖房能力：25.0 kW	COM	1	3	200	(0.7+4.5)×1	屋外	RSXYP224P（ダイト工業）				
	室外機												
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
RAC-H01-1	ビル用マルチエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	4	1	200	0.02	本館1階 待合室、診察室4・5	FXYCP45M（ダイト工業）				
	室内機	冷房能力：4.5 kW 暖房能力：5.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
RAC-H02	ビル用マルチエアコン	冷房能力：40.0 kW 暖房能力：45.0 kW	COM	1	3	200	(1.1+4.5+4.5)×1	屋外	RSXYP400P（ダイト工業）				
	室外機												
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
RAC-H02-1	ビル用マルチエアコン	型式：天井カセット形（4方向）	FAN	7	1	200	0.03	本館2階 医局	FXYFP56MA（ダイト工業）				
	室内機	冷房能力：5.6 kW 暖房能力：6.3 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、風向調整板、他付属品一式											
PAC-H-19	空冷パッケージエアコン	冷房能力：14.0 kW 暖房能力：16.0 kW	COM	1	3	200	(2.4+0.06)×2	屋外	PUSY-P140M-E（三菱電機）				
	室外機												
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
PAC-H-19-1	空冷パッケージエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	2	1	200	0.05	本館1階 外来・地域支援医療福祉相談室、診察室3	PLFY-P71LMD-E1（三菱電機）				
	室内機	冷房能力：7.0 kW 暖房能力：8.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
PAC-H-20	空冷パッケージエアコン	冷房能力：14.0 kW 暖房能力：16.0 kW	COM	1	3	200	(2.4+0.06)×2	屋外	PUSY-P140M-E（三菱電機）				
	室外機												
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
PAC-H-20-1	空冷パッケージエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	2	1	200	0.05	本館1階 診察室1、2	PLFY-P71LMD-E1（三菱電機）				
	室内機	冷房能力：7.0 kW 暖房能力：8.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
PAC-H-21	空冷パッケージエアコン	冷房能力：14.0 kW 暖房能力：16.0 kW	COM	1	3	200	(2.4+0.06)×2	屋外	PUSY-P140M-E（三菱電機）				
	室外機												
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
PAC-H-21-1	空冷パッケージエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	2	1	200	0.05	本館1階 第1外来処置室	PLFY-P71LMD-E1（三菱電機）				
	室内機	冷房能力：7.0 kW 暖房能力：8.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											

機器表		【新設】											
記号	名称	仕様	台数	電源				設置場所	リモコンスイッチ数量				
				φ	V	KW	起動						
ACP-107-2	ガスヒートポンプエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	1	1	200	0.05	L-S	1階 厨房休憩室	1				
	室内機	冷房能力：8.0 kW 暖房能力：9.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
ACP-107-3	ガスヒートポンプエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	1	1	200	0.03	L-S	1階 検収室	1				
	室内機	冷房能力：2.2 kW 暖房能力：2.5 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
ACP-107-4	ガスヒートポンプエアコン	型式：天井カセット形（1方向）	2	1	200	0.035	L-S	1階 厨房更衣室	2				
	室内機	冷房能力：2.8 kW 暖房能力：3.2 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
RAC-H01	ビル用マルチエアコン	冷房能力：22.4 kW 暖房能力：25.0 kW	COM	1	3	200	5.54×1	屋外					
	室外機		FAN	3	200	0.46×1							
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
RAC-H01-1	ビル用マルチエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	4	1	200	0.46×1	本館1階 待合室、診察室4・5	3				
	室内機	冷房能力：4.5 kW 暖房能力：5.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
RAC-H02	ビル用マルチエアコン	冷房能力：40.0 kW 暖房能力：45.0 kW	COM	1	3	200	11.5×1	屋外					
	室外機		FAN	3	200	0.36×2							
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
RAC-H02-1	ビル用マルチエアコン	型式：天井カセット形（4方向）	FAN	7	1	200	0.053×1	本館2階 医局	2				
	室内機	冷房能力：5.6 kW 暖房能力：6.3 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、風向調整板、他付属品一式											
PAC-H-19	空冷パッケージエアコン	冷房能力：14.0 kW 暖房能力：16.0 kW	COM	1	3	200	3.81×1	屋外					
	室外機		FAN	3	200	0.35×1							
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
PAC-H-19-1	空冷パッケージエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	2	1	200	0.05×1	本館1階 外来・地域支援医療福祉相談室、診察室3	2				
	室内機	冷房能力：7.1 kW 暖房能力：8.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
PAC-H-20	空冷パッケージエアコン	冷房能力：14.0 kW 暖房能力：16.0 kW	COM	1	3	200	3.81×1	屋外					
	室外機		FAN	3	200	0.35×1							
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
PAC-H-20-1	空冷パッケージエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	2	1	200	0.05×1	本館1階 診察室1、2	2				
	室内機	冷房能力：7.1 kW 暖房能力：8.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											
PAC-H-21	空冷パッケージエアコン	冷房能力：14.0 kW 暖房能力：16.0 kW	COM	1	3	200	3.81×1	屋外					
	室外機		FAN	3	200	0.35×1							
		付属品：防振架台、本体付属品一式共											
PAC-H-21-1	空冷パッケージエアコン	型式：天井カセット形（2方向）	FAN	2	1	200	0.05×1	本館1階 第1外来処置室	1				
	室内機	冷房能力：7.1 kW 暖房能力：8.0 kW											
		付属品：防振吊金具、リモコンスイッチ、ドレンアップ、他付属品一式											

※ 冷媒配管を再利用するにあたり、既設冷媒配管の口径等の現場条件で使用可能な機器選定を行うこと

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	空調設備 機器表2 【撤去・新設】		M-06
縮尺	N/S		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所 一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			



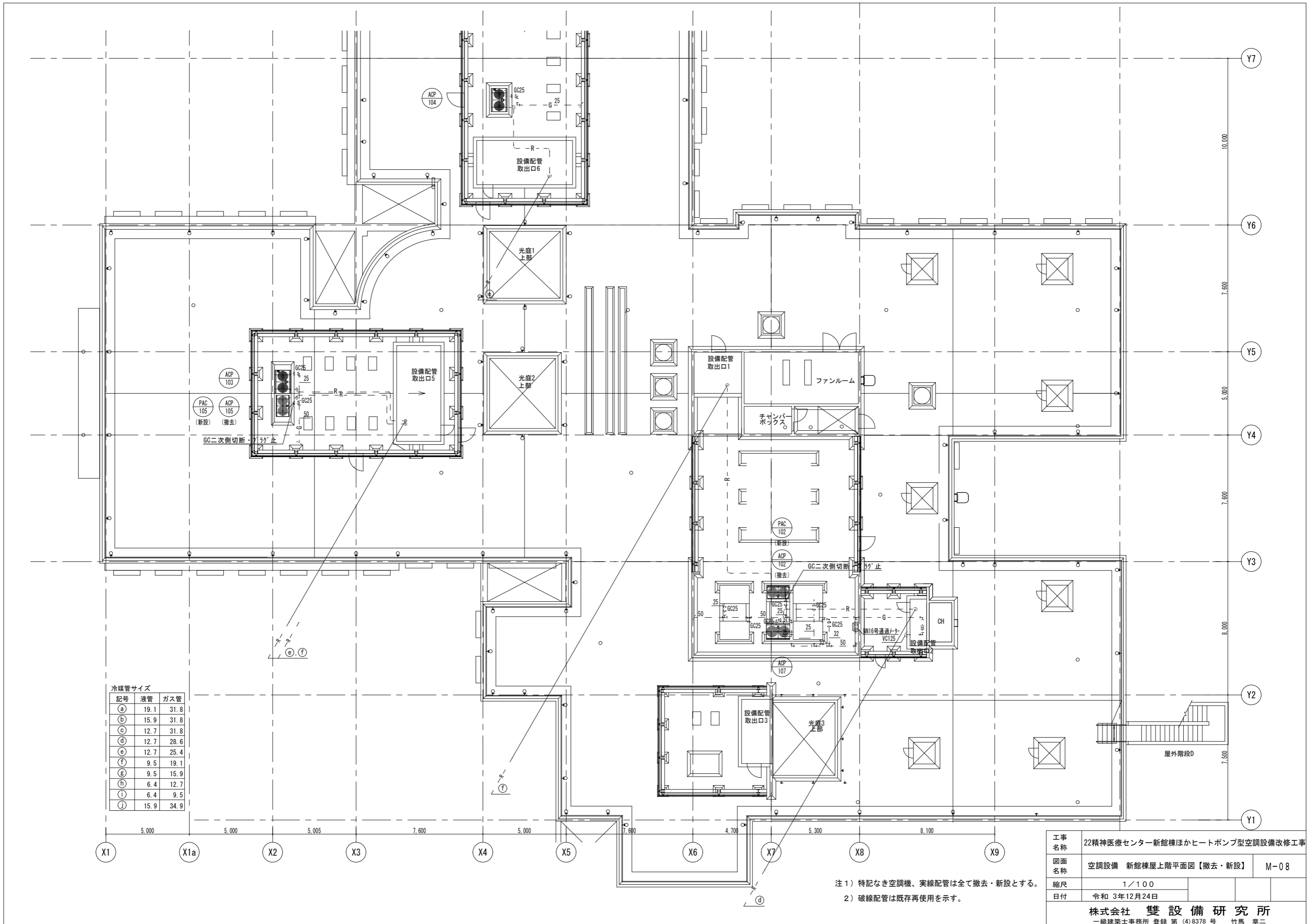
冷媒管サイズ

記号	液管	ガス管
(a)	19.1	31.8
(b)	15.9	31.8
(c)	12.7	31.8
(d)	12.7	28.6
(e)	12.7	25.4
(f)	9.5	19.1
(g)	9.5	15.9
(h)	6.4	12.7
(i)	6.4	9.5
(j)	15.9	34.9

注1) 特記なき空調機、実線配管は全て撤去・新設とする。  
 2) 破線配管は既存再使用を示す。  
 3) 加湿用給水管の切断・ブツ止の下流側は残置とする。  
 切断・ブツ止の下流側給水管に接続する全ての機器について水抜きを行う。  
 また、今回更新対象機器周りの給水管は取外しブツ止とする。

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事	
図面名称	空調設備 新館棟1階平面図 【撤去・新設】	M-07
縮尺	1/100	
日付	令和3年12月24日	
株式会社 雙設備研究所 一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二		



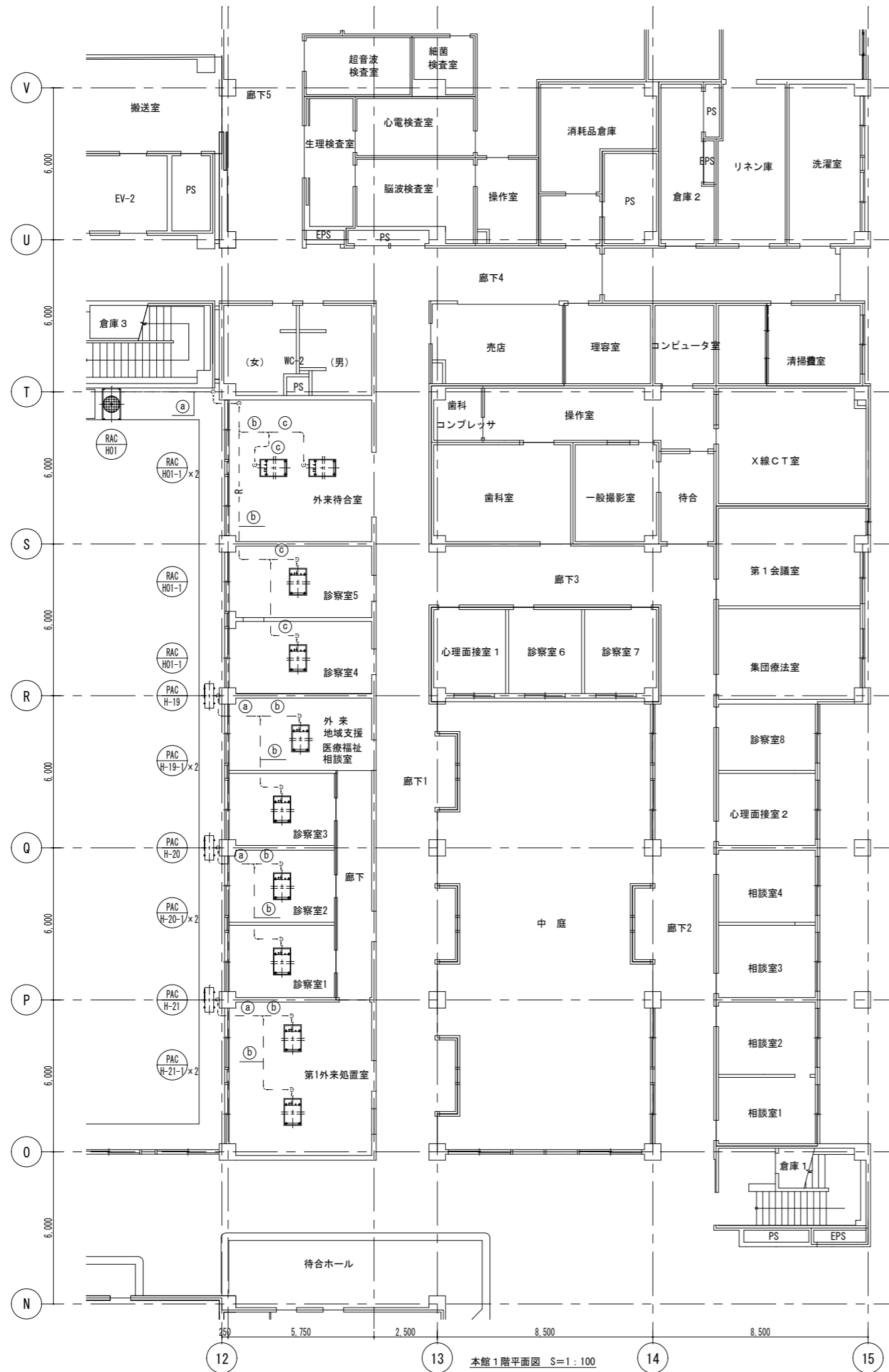


冷媒管サイズ

記号	液管	ガス管
a	19.1	31.8
b	15.9	31.8
c	12.7	31.8
d	12.7	28.6
e	12.7	25.4
f	9.5	19.1
g	9.5	15.9
h	6.4	12.7
i	6.4	9.5
j	15.9	34.9

注1) 特記なき空調機、実線配管は全て撤去・新設とする。  
 2) 破線配管は既存再使用を示す。

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事	
図面名称	空調設備 新館棟屋上階平面図【撤去・新設】	M-08
縮尺	1/100	
日付	令和 3年12月24日	
株式会社 雙 設備 研究所		
一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二		



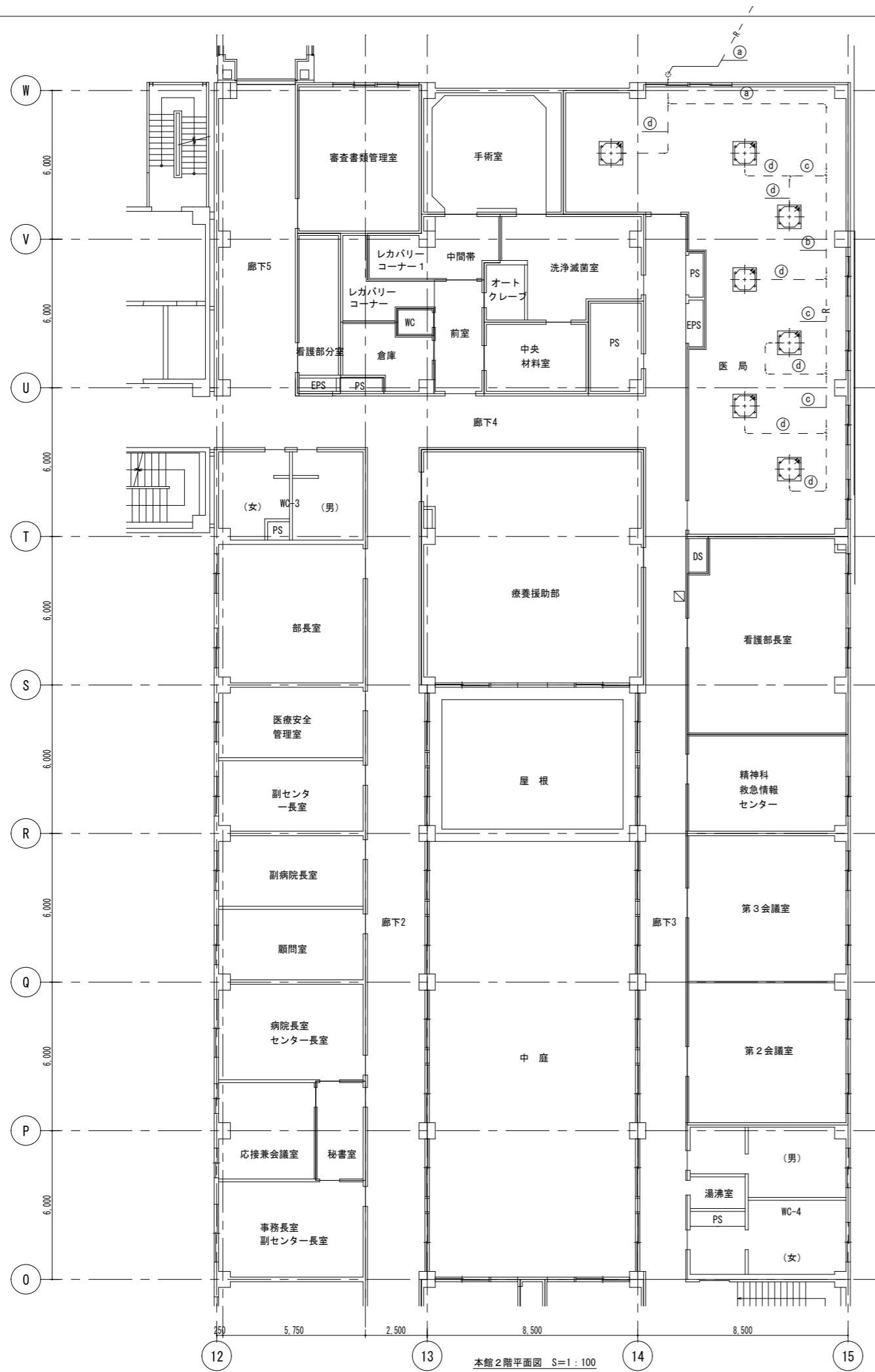
冷媒管サイズ

記号	液管	ガス管
Ⓐ	9.5	19.1
Ⓑ	9.5	15.9
Ⓒ	6.4	12.7

本館1階平面図 S=1:100

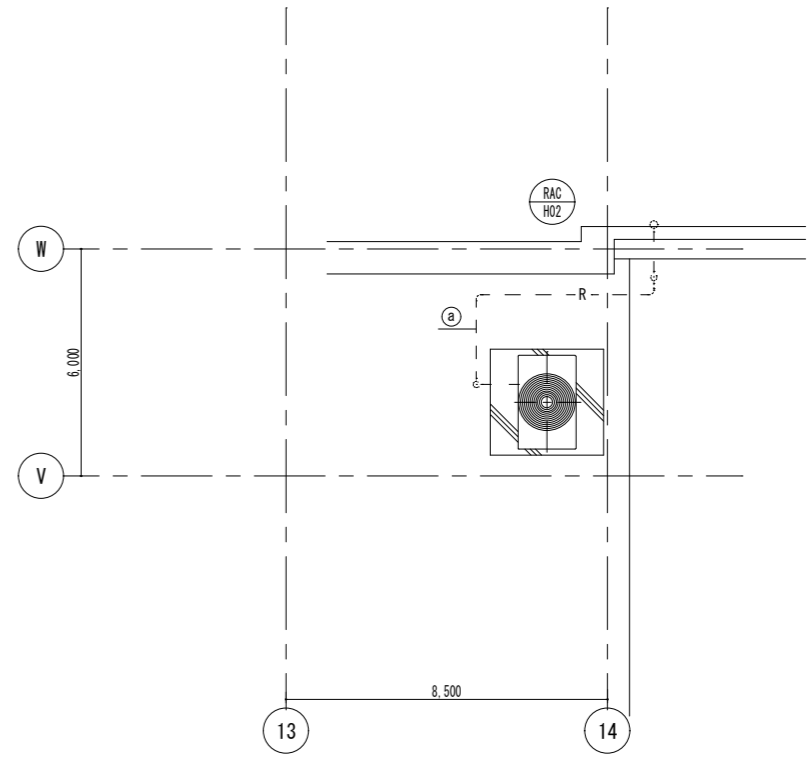
- 注1) 特記なき空調機は全て撤去・新設とする。  
 2) 破線配管は既存再使用を示す。

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	空調設備 本館棟1階平面図 【撤去・新設】	M-09	
縮尺	1/100		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所 一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			



RAC HO2-1 x7

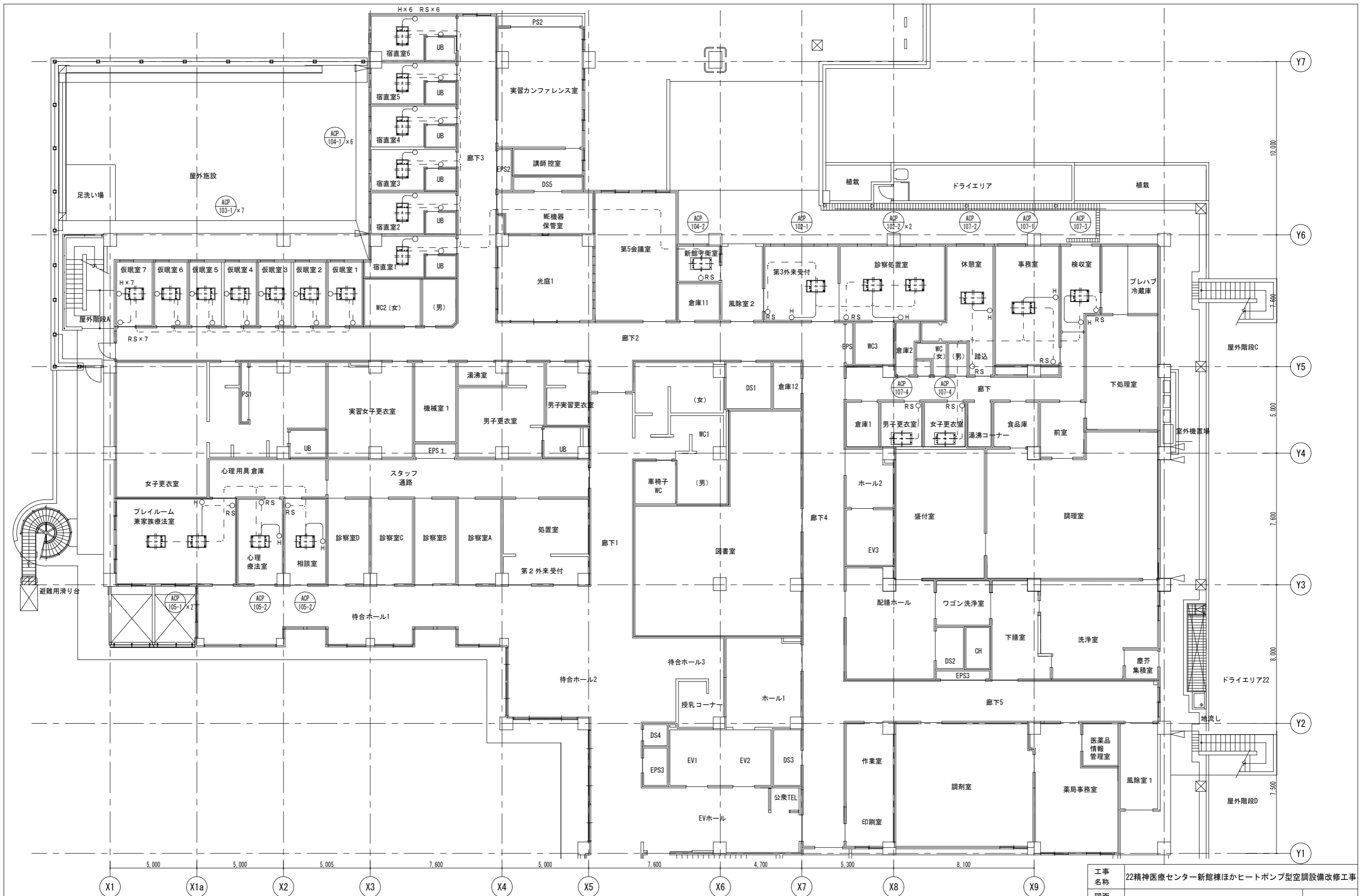
冷媒管サイズ		
記号	液管	ガス管
(a)	12.7	25.4
(b)	9.5	22.2
(c)	9.5	15.9
(d)	6.4	12.7



本館屋上平面図 S=1:100

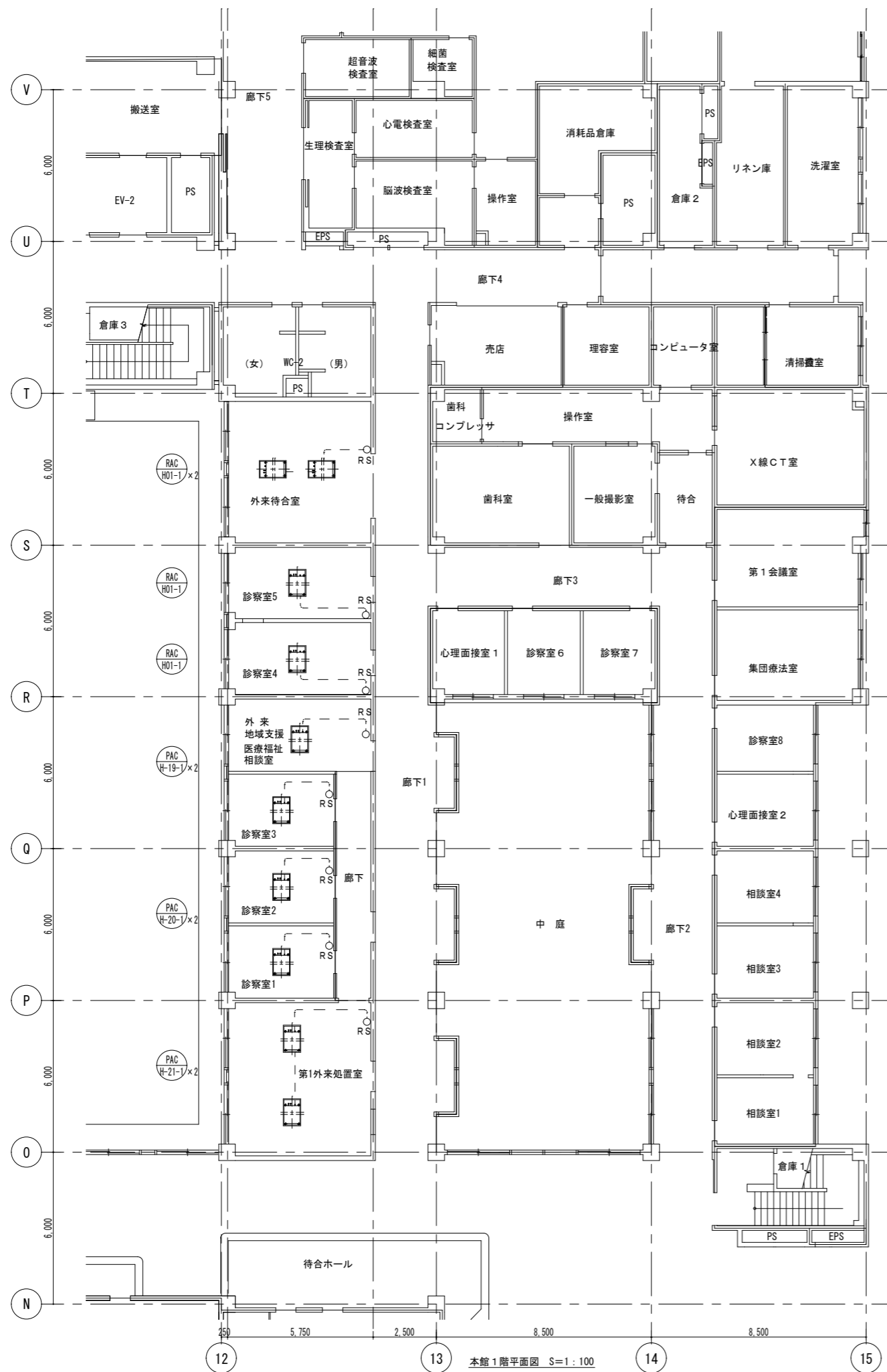
- 注1) 特記なき空調機は全て撤去・新設とする。
- 注2) 破線配管は既存再使用を示す。

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	空調設備 本館棟2階・屋上階平面図	【撤去・新設】	M-10
縮尺	1/100		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			



- 注1) 特記なきリモコンスイッチは全て撤去・新設とする。  
 2) 破線記線は既存再使用を示す。  
 3) 室内湿度検出器及び配線は撤去とする。室内湿度検出器は撤去後プレート塞ぎ150×150とする。

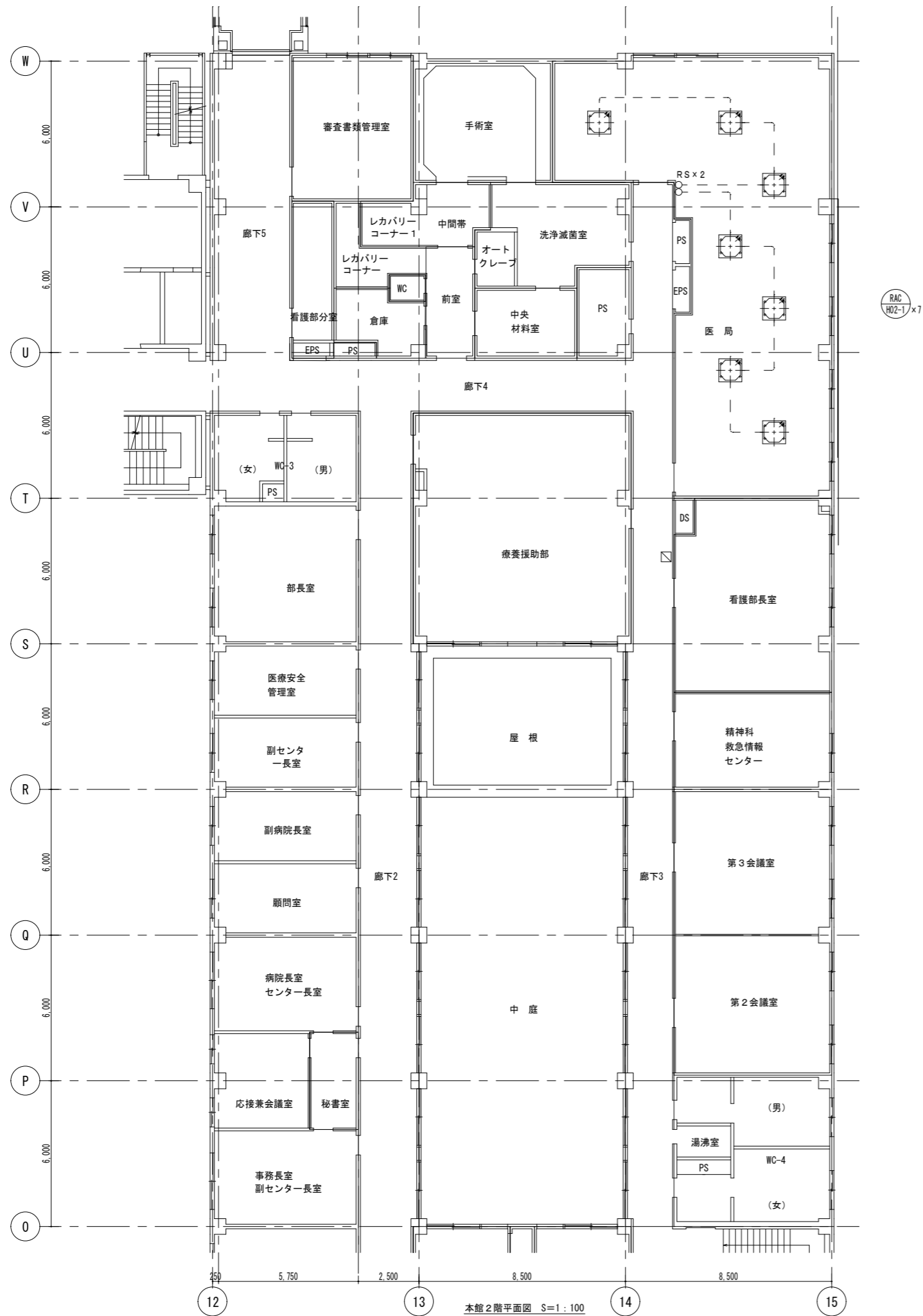
工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事	
図面名称	自動制御設備 新館棟1階平面図【撤去・新設】	M-11
縮尺	1/100	
日付	令和3年12月24日	
株式会社 雙設備研究所		
一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二		



本館1階平面図 S=1:100

- 注1) 特記なきリモコンスイッチは全て撤去・新設とする。
- 2) 破線配線は既存再使用を示す。

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	自動制御設備 本館棟1階平面図【撤去・新設】	M-12	
縮尺	1/100		
日付	令和3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			



本館2階平面図 S=1:100

- 注1) 特記なきリモコンスイッチは全て撤去・新設とする。  
 2) 破線配線は既存再使用を示す。

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	自動制御設備 本館棟2階・R階平面図 【撤去・新設】	M-13	
縮尺	1/100		
日付	令和3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所 一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			

既設外気処理空調機 機器表 (整備作業対象)

記号	名称	仕様	台数	電源				設置場所	参考型番
				φ	V	KW	起動		
AC-101	外気処理空調機 (1階外来診察系統)	型式: コンパクト形外気処理空調機	1	3	200	2.2	L-S	1階 機械室1	AJ60-A0-BD (新晃工業)
		仕様: 送風機能力 3,150 m <sup>3</sup> /h × 420 Pa (機外静圧)							
		冷温水コイル (冷却38.8 kw, 加熱41.7 kw)							
		冷温水量 (Δt = 8°C) 73L/min							
		冷水 7°C-15°C 温水 55°C							
フィルター NBS 65% 加湿量 (気化式) 25.0 kg/h									
付属品: スプリング防振架台、温度計×2、圧力計×2									
AC-102	外気処理空調機 (1階厨房系統)	型式: ユニット形外気処理空調機	3	3	200	18.5	-Δ	B1階 機械室B1	GH-35 (新晃工業)
		仕様: 送風機能力 29,600 m <sup>3</sup> /h × 810 Pa (機外静圧)							
		冷温水コイル (冷却373.0 kw, 加熱166.2 kw)							
		冷温水量 (Δt = 8°C) 669L/min							
		冷水 7°C-15°C 温水 55°C							
フィルター プレ (AF150%) + NBS65%									
付属品: スプリング防振架台、温度計×2、圧力計×2									

(外気処理空調機 整備作業内容)

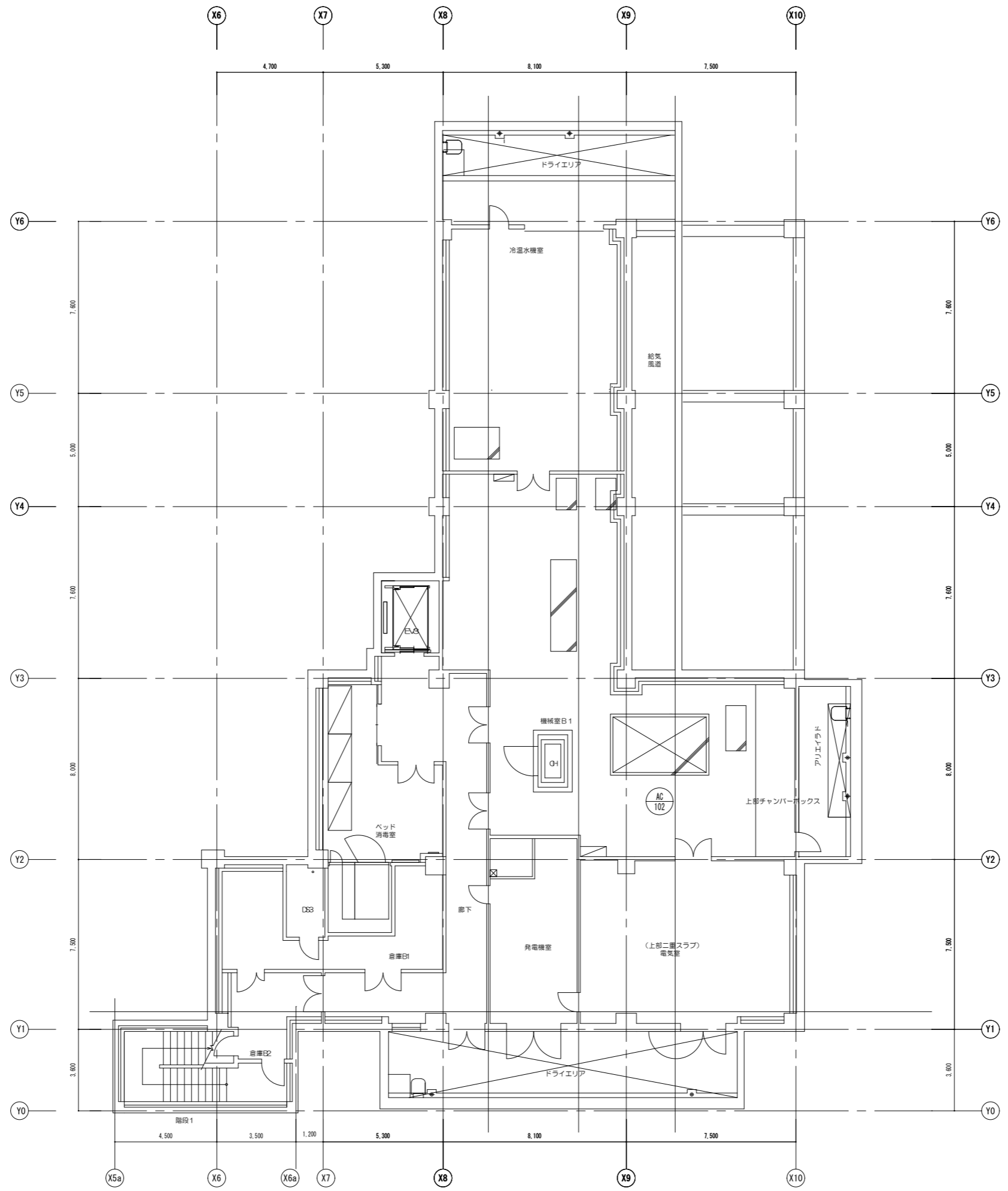
AC-101

- I. 冷温水コイル交換作業
    - ・配管作業を含む
  - II. 錆部補修塗装作業
    - ・錆部補修塗装は錆部ケレン後に下塗り、上塗りの二度塗りとする。  
塗料は臭気の少ない水性塗料を使用する。
  - III. 駆動部整備作業
    - ・モーターベアリング交換、ファンベアリング交換、Vブーリー交換、Vベルト交換、ファンランナ洗浄
  - IV. 試運転調整及び確認
- ※ 上記作業は下記の通りとする。  
平日夜間作業・休日昼間作業又は休日夜間作業とする。

AC-102

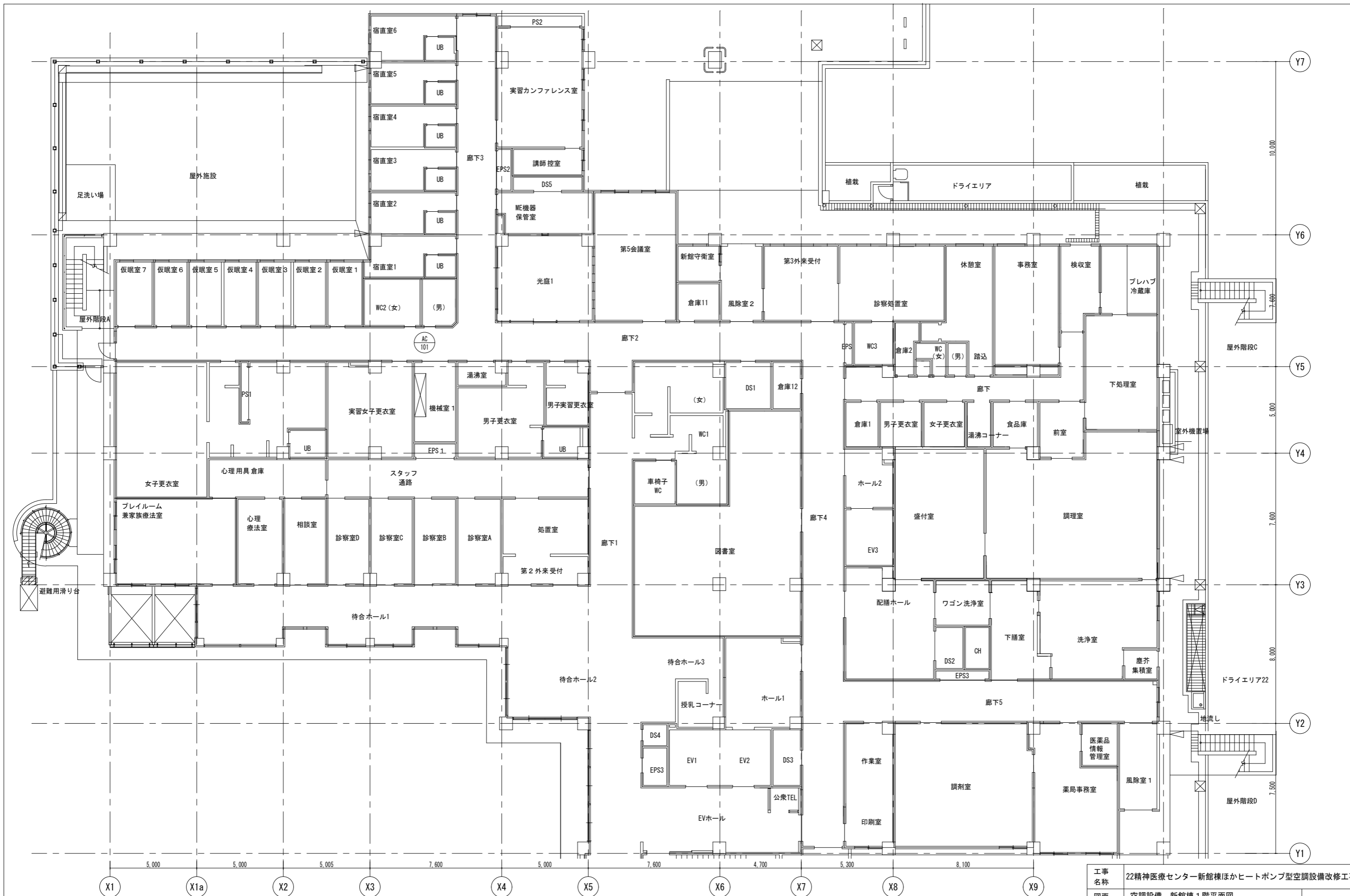
- I. 駆動部整備作業
    - ・モーターベアリング交換、ファンベアリング交換、Vブーリー交換、Vベルト交換
  - II. コイルファン及びファンランナ洗浄作業
  - III. 錆部補修塗装作業
  - IV. 試運転調整及び確認
- ※ 上記作業は下記の通りとする。  
平日夜間作業又は休日夜間作業とする。

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	空調設備 機器表 【外気処理空調機整備】	M-14	
縮尺	N/S		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙 設 備 研 究 所 一級建築士事務所 登録 第 (4)8378 号 竹馬 章二			

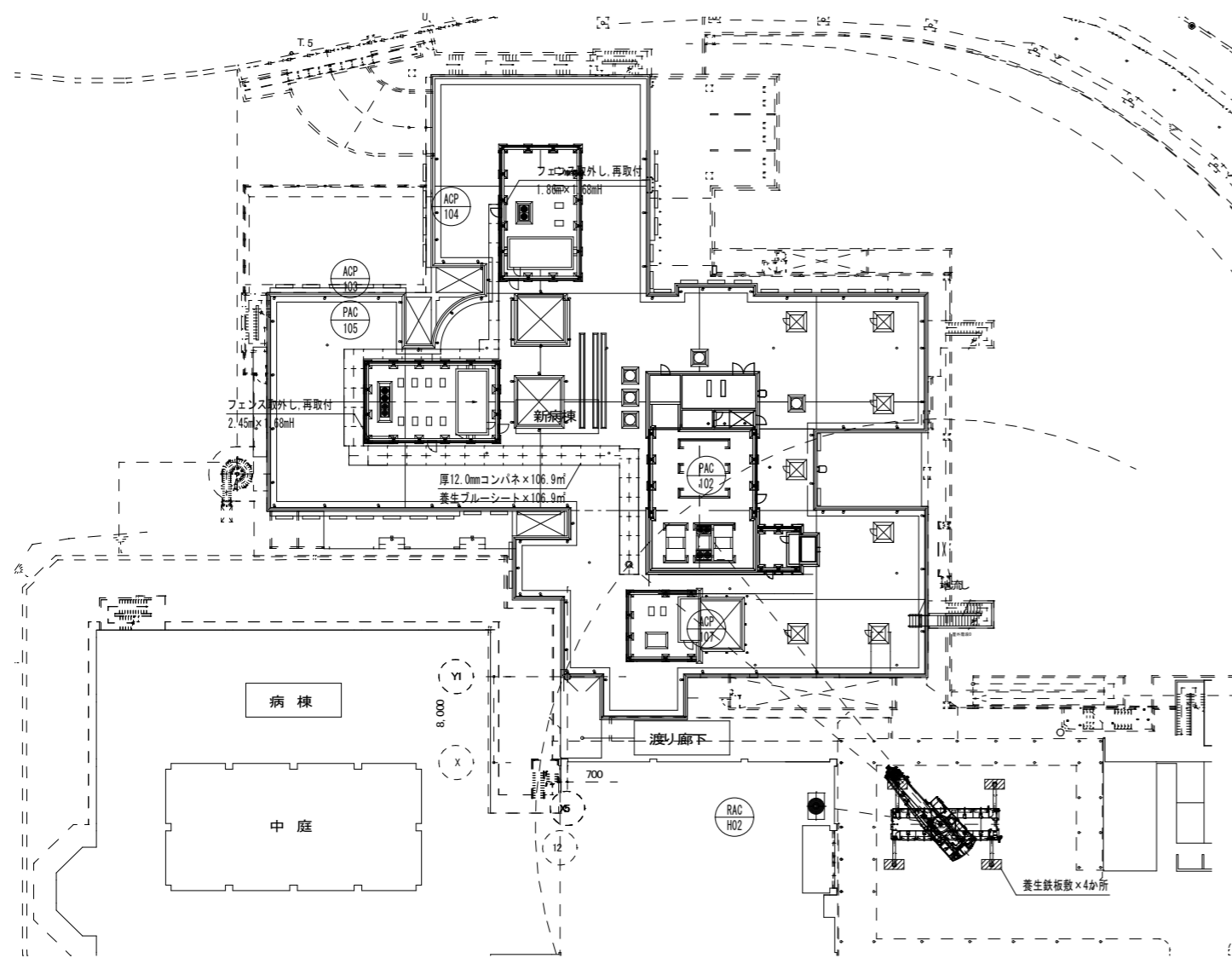
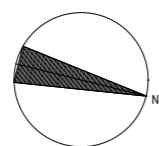


工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	空調設備 新館棟地下1階平面図		M-15
縮尺	1/100		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			

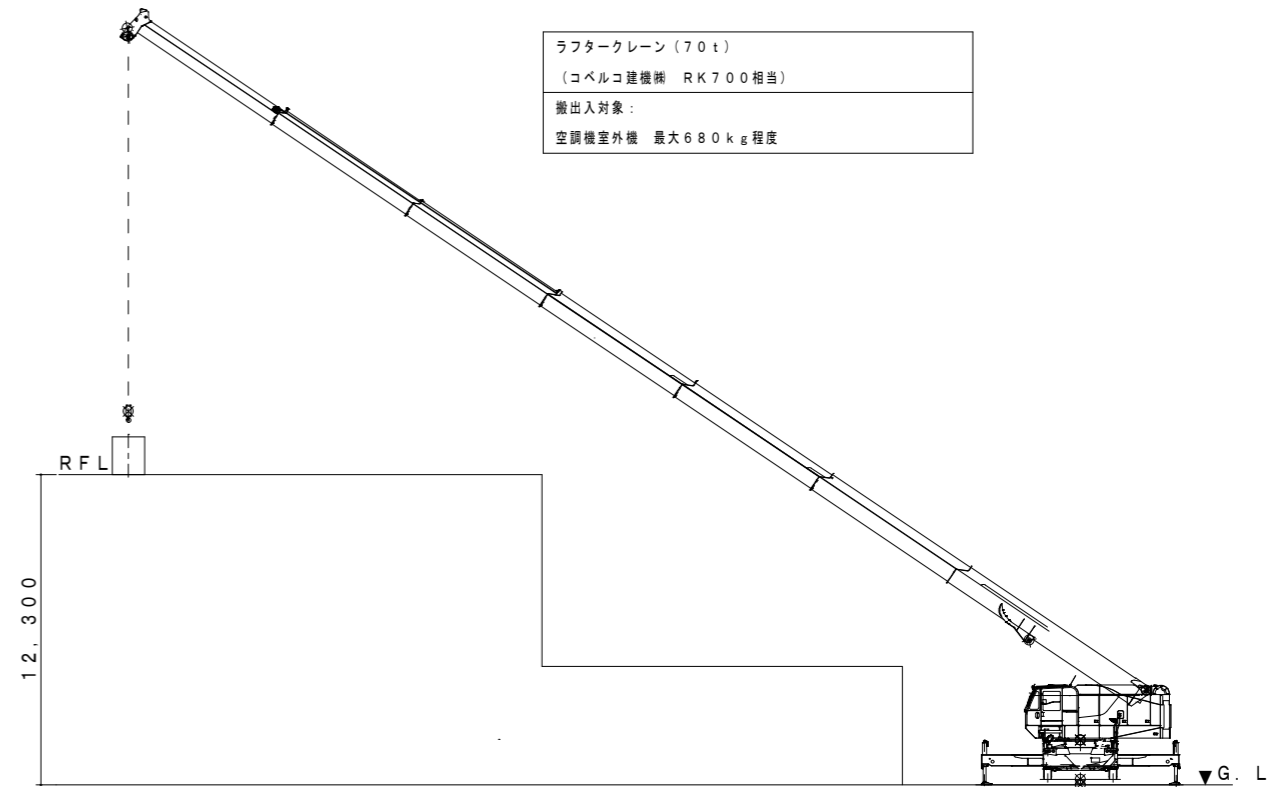




工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	空調設備 新館棟1階平面図		M-16
	【外気処理空調機整備】		
縮尺	1/100		
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二			



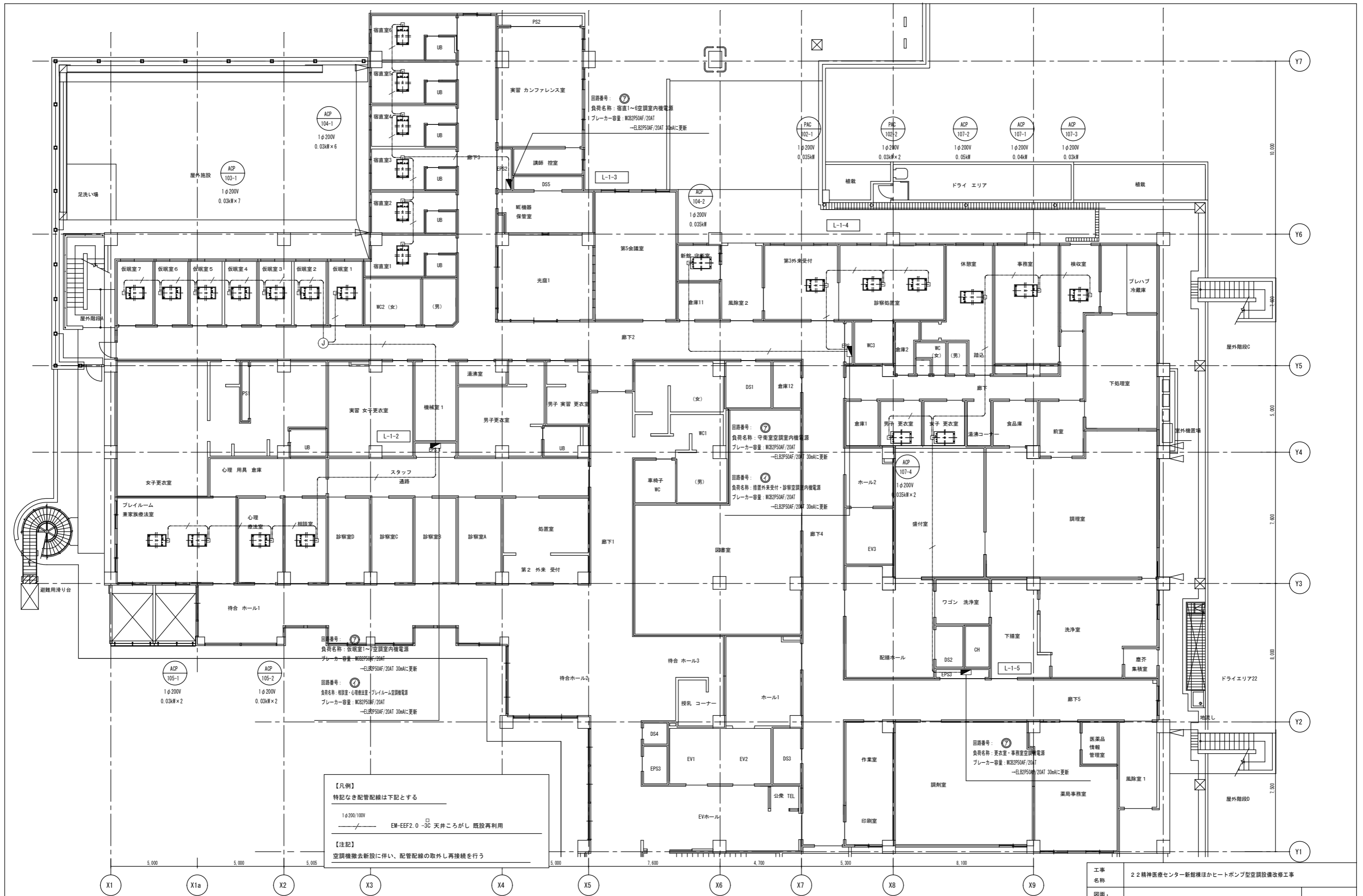
搬入平面図 S=1/300



搬入立面図 N/S

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	仮設図 (参考図)	M-17	
縮尺	1/300		
日付	令和 3年9月30日		
<b>株式会社 雙設備研究所</b> <small>一級建築士事務所 登録 第(4)8378号 竹馬 章二</small>			



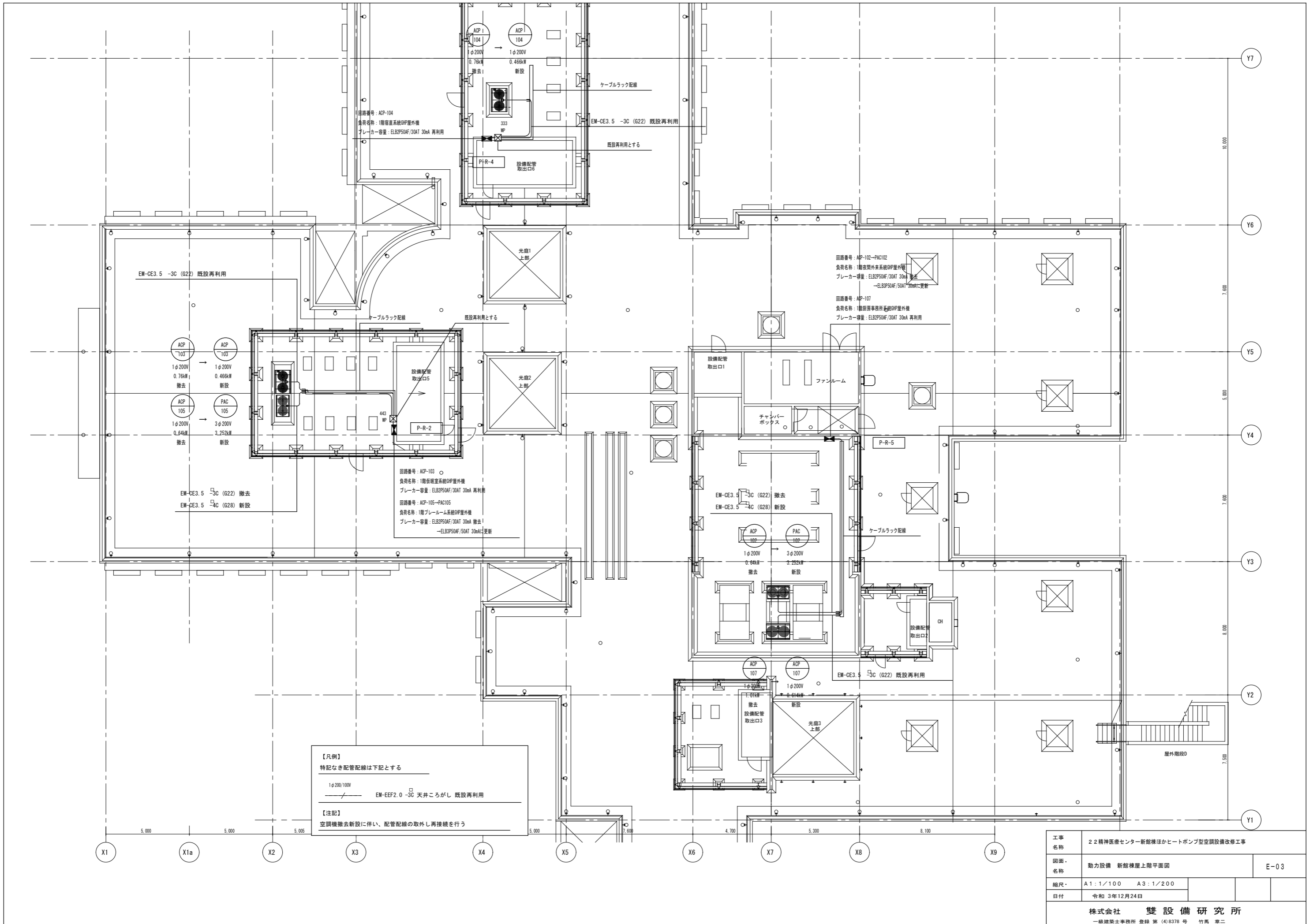


【凡例】  
 特記なき配管配線は下記とする  
 1φ200/100V  
 EM-EEF2.0-30 天井ごろがし 既設再利用  
 【注記】  
 空調機撤去新設に伴い、配管配線の取外し再接続を行う

室内機作業可能な時間

記号	系統	作業可能時間	記号	系統	作業可能時間
PAC-102	夜間外来系統	平日昼間又は休日昼間	PAC-105	プレイルーム系統	平日昼間・休日昼間又は休日夜間
ACP-103	仮眠室系統	平日昼間又は休日昼間	ACP-107	厨房事務室系統	平日夜間又は休日夜間
ACP-104	宿直室系統	平日昼間又は休日昼間			

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	動力設備 新館棟1階平面図	E-02	
縮尺	A1:1/100	A3:1/200	
日付	令和3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			



工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	動力設備 新館棟屋上階平面図	E-03	
縮尺	A1: 1/100	A3: 1/200	
日付	令和 3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			

回路番号: RAC-H01  
 負荷名称: マルチタイプ空調機  
 プレーカー容量: MCB2P50AF/100AT 撤去→ELB3P100AF/100AT 30mAに更新

回路番号: ①  
 負荷名称: 診察室・処置室・臨床検査室天井PAC  
 プレーカー容量: MCB2P50AF/20AT 撤去→ELB2P50AF/20AT 30mAに更新

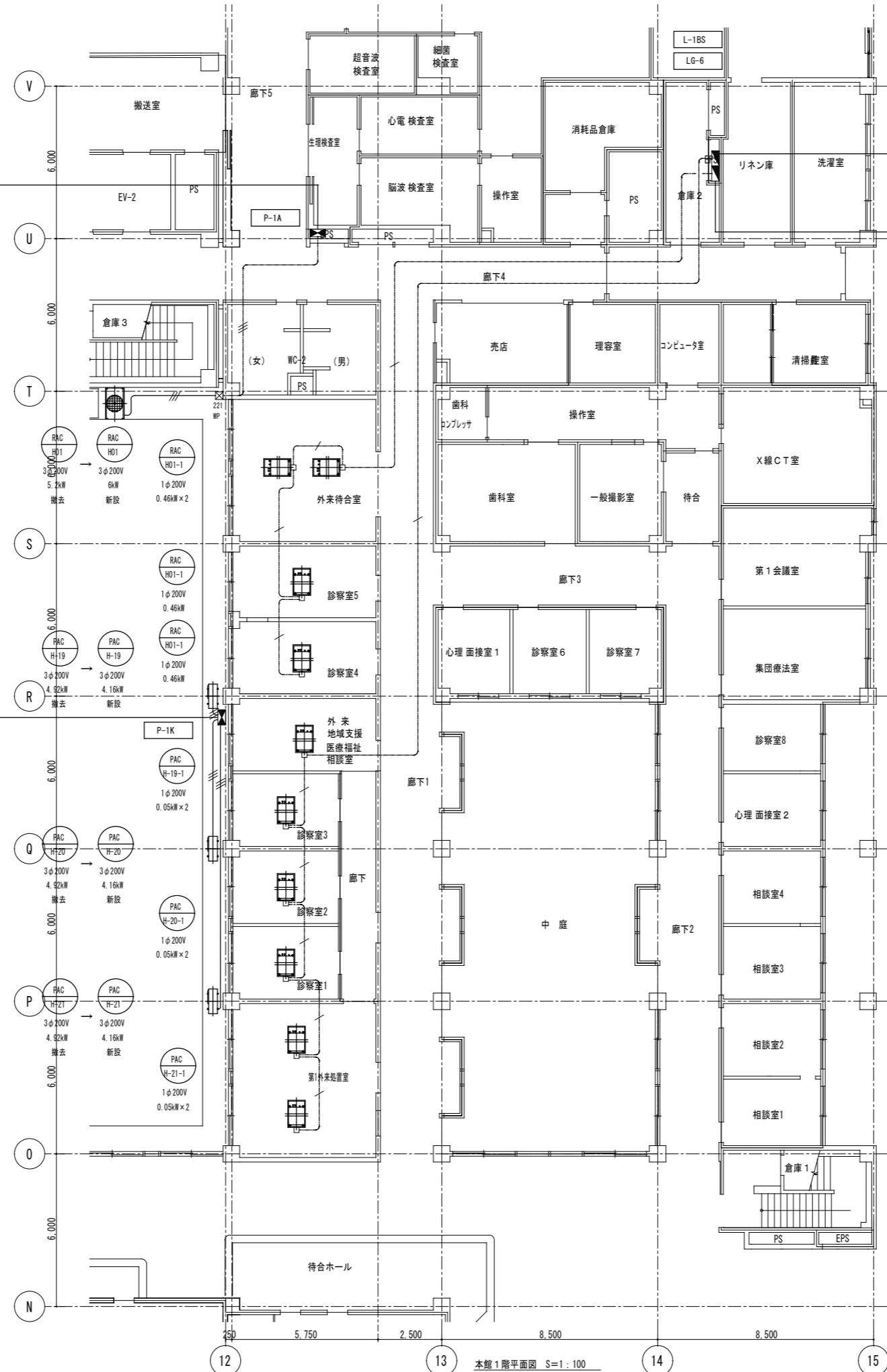
回路番号: ⑤  
 負荷名称: 外来待合・診察室エアコン  
 プレーカー容量: MCB2P50AF/20AT 撤去→ELB2P50AF/20AT 30mAに更新

回路番号: PAC-H-19  
 負荷名称: 屋外機  
 プレーカー容量: ELB3P50AF/30AT 30mA 再利用

回路番号: PAC-H-20  
 負荷名称: 屋外機  
 プレーカー容量: ELB3P50AF/30AT 30mA 再利用

回路番号: PAC-H-21  
 負荷名称: 屋外機  
 プレーカー容量: ELB3P50AF/30AT 30mA 再利用

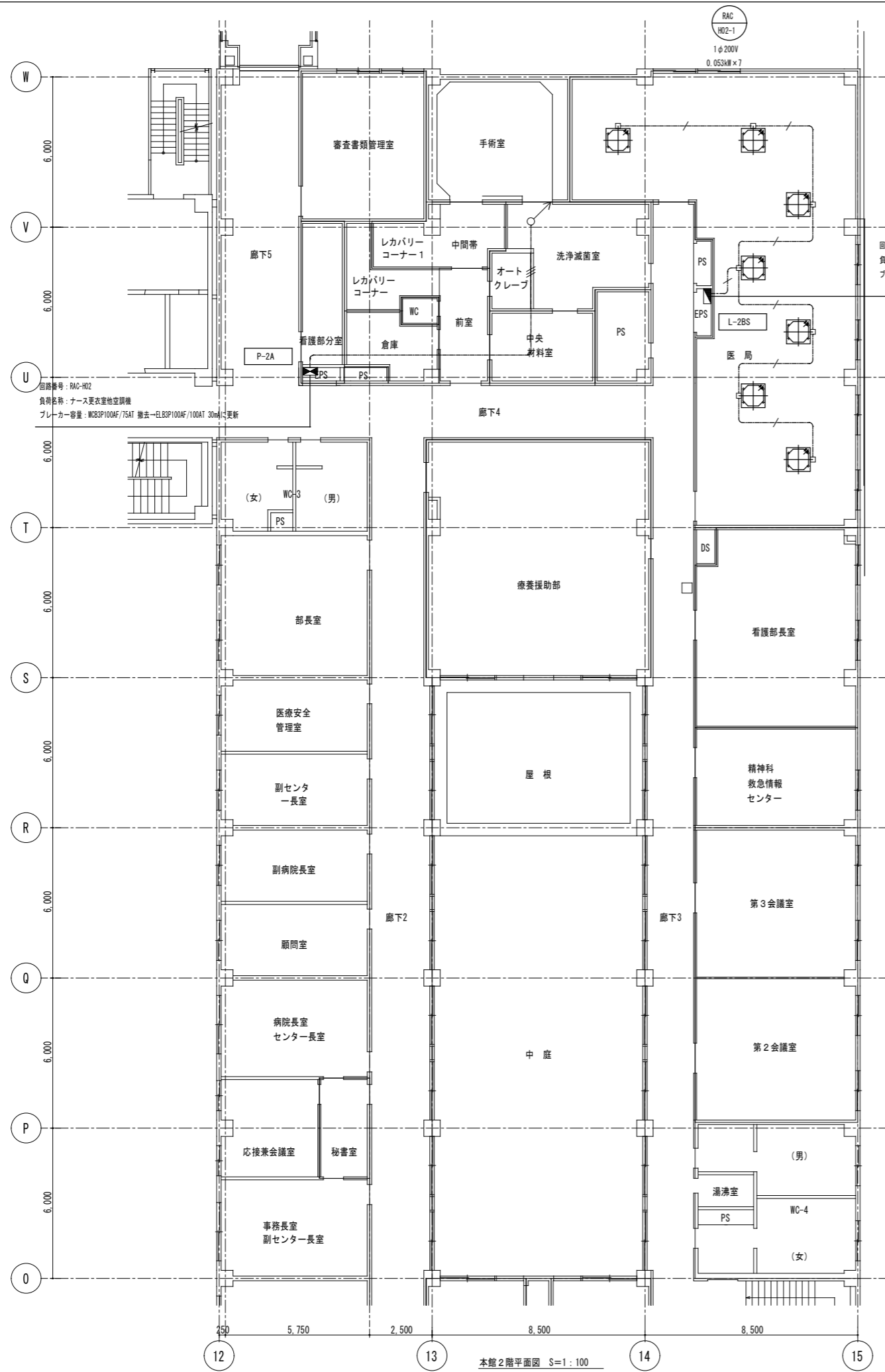
【凡例】	
特記なき配管配線は下記とする	
3φ200V	EM-CE3.5-4C G(28) 既設再利用
3φ200V	EM-CE3.5-4C 天井ころがし 既設再利用
1φ200/100V	EM-EF2.0-3C 天井ころがし 既設再利用
【注記】	
空調機撤去新設に伴い、配管配線の取外し再接続を行う	



記号	系統	作業可能時間
RAC-H01	外来系統	平日夜間 休日昼間又は休日夜間
PAC-H-19		
PAC-H-20		
PAC-H-21		

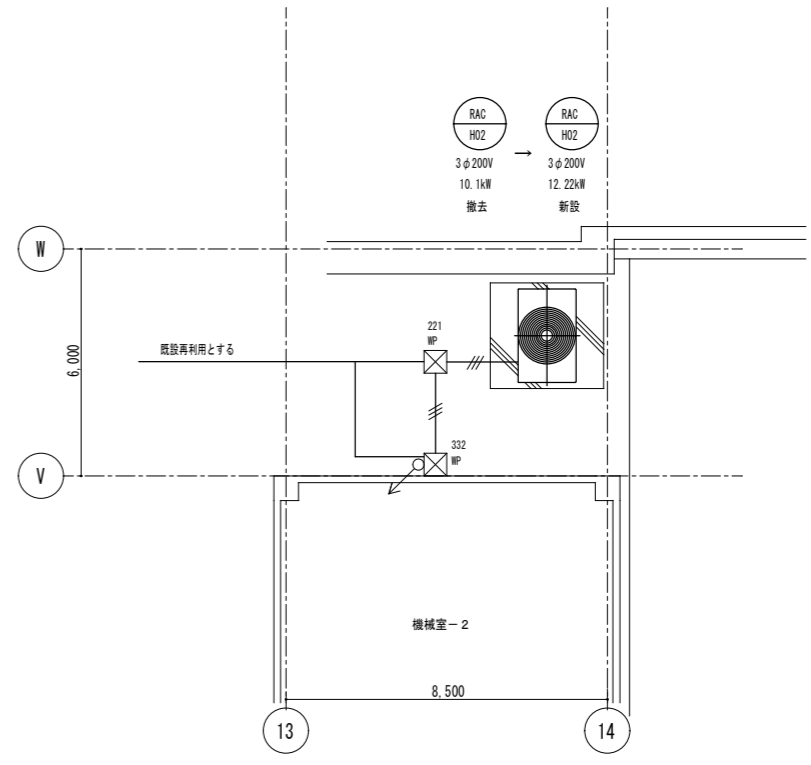
工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	動力設備 本館棟1階平面図	E-04	
縮尺	A1: 1/100	A3: 1/200	
日付	令和3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			

本館1階平面図 S=1:100



回路番号: RAC-HO2  
 負荷名称: ナース更衣室他空調機  
 ブレーカー容量: W2BP100AF/75AT 撤去→ELBP100AF/100AT 30mAに更新

回路番号: ⑤  
 負荷名称: 医局パッケージ電源  
 ブレーカー容量: W2BP50AF/20AT  
 →ELBP50AF/20AT 30mAに更新



本館屋上平面図 S=1:100

【凡例】  
 特記なき配管配線は下記とする

3φ200V	EM-OE3.5-4C G(28) 既設再利用
3φ200V	EM-OE3.5-4C 天井ころがし 既設再利用
1φ200/100V	EM-EEF2.0-3C 天井ころがし 既設再利用

【注記】  
 空調機撤去新設に伴い、配管配線の取外し再接続を行う

室内機作業可能な時間

記号	系統	作業可能時間
RAC-HO2	医局系統	平日夜間又は休日夜間

工事名称	22精神医療センター新館棟ほかヒートポンプ型空調設備改修工事		
図面名称	動力設備 本館棟2階平面図	E-05	
縮尺	A1:1/100	A3:1/200	
日付	令和3年12月24日		
株式会社 雙設備研究所			
一級建築士事務所 登録第(4)8378号 竹馬 章二			